LEICA V-LUX 30

取扱説明書

もくじ

はじめに

準備

基本

撮影

もくじ（つづき）

再生・編集

他の機器との接続

その他Q&A

ご使用の前に

■本機の取り扱いについて…



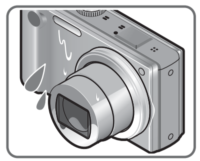
本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

● 下記のような状態で使用すると、レンズや液晶モニター、外装ケースが破壊される可能性があります。また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
- 本機を落とす、またはぶつける
- 本機をズボンのポケットに入れたまま座る、またはいっぱいになったかばんなどに無理に入れる
- 本機に取り付けたストラップに、アクセサリーなどをぶら下げる
- レンズ部や液晶モニターを強く押さえつける

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。
ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

● 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンのすき間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。
- 砂やほこりの多いところ
- 雨の日や浜辺など水がかかるところ

■つゆつきについて（レンズがくもるとき）…



● つゆつきは、温度差や湿度差があると起こります。レンズ汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。

● つゆつきが起こった場合、電源スイッチを[OFF]にし、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。

ご使用の前に（つづき）

■事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。
個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■「使用上のお願いとお知らせ」も、あわせてお読みください(P.143)

GPSについて

■本機の地名情報について

お使いの前に、147ページの「地名データ使用許諾契約書」をお読みください。

■「GPS設定」を「ON」に設定していると、電源をOFFにしても、GPS機能が働きます

- 本機からの電磁波などが計器類に影響を及ぼすことがありますので、離着陸時や使用を禁止された区域では、「GPS設定」を「OFF」または に設定のうえ、本機の電源をOFFにしてください。(P.78)
- 「GPS設定」が「ON」のときは、電源をOFFにしていてもバッテリーが消耗します。

■撮影地の情報について

- 撮影地の地名やランドマーク(建物の名称など)は、2010年12月現在のものです。更新はされません。
- 国や地域により、地名やランドマークの情報が少ない場合があります。

■測位について

- GPS衛星からの電波が受信しにくい環境では、測位に時間がかかります。(P.77)
- **初めて測位するときや、「GPS設定」を にして電源を切ったり、「OFF」に設定すると、再び電源を入れて測位した場合、電波の受信状態が良くても測位成功までに約2～3分かかります。**
- GPS衛星の位置は刻々と変化していますので、撮影する場所や状況により、正しく測位できなかったり、誤差が生じる場合があります。

■海外旅行などでお使いの場合

- 中国および中国と隣接する周辺国の国境付近でGPSが働かない場合があります。(2010年12月現在)
- 国や地域によっては、GPSの使用などが規制されている場合があります。本機にはGPS機能がありますので、海外旅行などで外国に持ち込む場合は、事前にGPS機能付きカメラについて持ち込み制限などがないか、大使館や旅行代理店などにご確認ください。

付属品

	オーダー番号
バッテリーパック BP-DC7-E BP-DC7-U	 18 701 18 702
バッテリーチャージャー BC-DC7-E BC-DC7-U BC-DC7-TK	 423-082.001-012 423-082.001-010 423-083.001-028
電源ケーブル EU UK AUS TW CN KR	 423-068.801-019 423-068.801-020 423-068.801-023 424-025.002-000 423-082.805-004 423-082.805-005 （仕向け地により異なります）
ハンドストラップ	423-068.801-015
CD-ROM （取扱説明書収録）	423-083.001-023
DVD-ROM （Adobe® Photoshop® Elements®収録）	423-083.001-024
DVD-ROM （Adobe® Premiere® Elements®収録）	423-083.001-025
USB接続ケーブル	423-083.001-020
AVケーブル	423-083.001-022
タッチペン	423-083.001-029
ボタン表示シール （カナダ/台湾向け）	423-083.001-026 / -027
取扱説明書（本書）	93 374-377 （仕向け地により異なります）
保証書	439-399.100-026

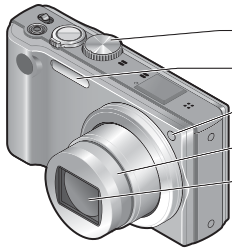
別売品のご紹介

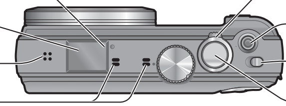
	オーダー番号
レザーケース	18 751
ソフトレザーケース	18 714
HDMIミニケーブル	14 491
ミニ三脚	14 320
卓上三脚	14 110
自由雲台	14 100

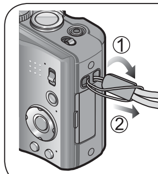
おしらせ

- メモリーカードは別売です。カードがないときは、内蔵メモリーを使って、画像を撮影したり再生したりできます。
- お使いの前に、付属品をご確認ください。
- 付属品の種類や形状は、購入された国や地域によって異なる場合があります。
- 包装材料などは、商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

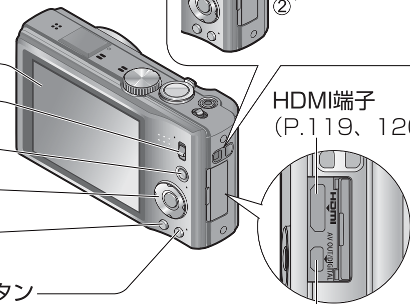
各部の名前

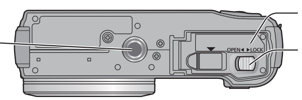






落下防止のため、ハンドストラップの使用をおすすめします。





● 製品のイラストや画面は、実物と異なる場合があります。
● 本機の操作方法について（P.16）

バッテリーを **充電する**

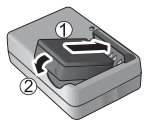
ご使用の前に、必ず充電！
（お買い上げ時には、充電されていません）

■本機で使えるバッテリー

> **ライカカメラAG製純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。**
> **ライカカメラAGでは模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。安全に商品をご使用いただくために、ライカ純正バッテリーBP-DC7のご使用をおすすめいたします。(P.8)**

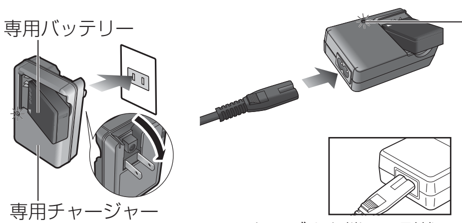
- **本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。**
- **本機には、安全に使用できるバッテリーを判別する機能があり、専用バッテリーは、この機能に対応しています。この機能に対応していないバッテリーは使用できません。なお、純正品以外の他社製バッテリーの品質・性能・安全性については一切保証できません。**

1 バッテリーをチャージャーに取りつける



2 電源コンセントに差し込む

●プラグインタイプ　●インレットタイプ



- ACケーブルと端子の形状は、完全には一致しません。

●屋内の電源コンセントへ
（室温10℃～30℃で充電してください）

充電ランプ（[CHARGE]）

点灯：充電中（使い切ってから充電した場合、約130分）
消灯：充電完了
点滅したら：
- バッテリーの温度が低すぎる、または高すぎるため、通常よりも充電時間がかかります。（充電を完了できないことがあります）
- バッテリーやチャージャーの端子部が汚れています。乾いた布でふいてください。

3 充電が完了したら、バッテリーを取り出す

●電源コンセントに接続してチャージャーに電気が供給されているときは、主回路が常に通電状態になっています。

撮影可能枚数や使用時間の目安

フラッシュやズーム、「液晶モード」などを多用した場合やGPS機能が働いている場合、寒冷地の低温下などでは、下記より撮影枚数や使用時間が減少することがあります。

■写真撮影

記録可能枚数	約260枚	CIPA規格に基づく
撮影使用時間	約130分	

●CIPA※1規格の撮影条件

※1 CIPAは、カメラ映像機器工業会(Camera & Imaging Products Association)の略称です。

- 温度23 ℃／湿度50 % RH
- プログラムAEモード
- 液晶モニターを点灯
- GPS設定「OFF」
- SDメモリーカード(32MB)使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れ、30秒後に撮影開始（手ブレ補正「ON」）
- 30秒間隔で、1枚撮影
- フラッシュを2回に1回フル発光
- 撮影ごとにズーム操作（W端→T端、またはT端→W端）
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーを冷ます

撮影間隔が長いと枚数は減り、例えば上記の撮影条件において2分間隔で撮影した場合は約1/4になります。

■動画撮影

画質設定	AVCHD「FSH」	MOTION JPEG「HD」
撮影可能時間※2	約70分	約85分
実撮影可能時間※3	約35分	約40分

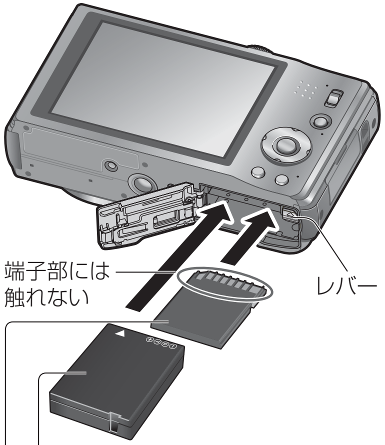
●撮影条件
- 温度23 ℃／湿度50 % RH
- GPS設定「OFF」

※2 撮影可能時間について(P.30)
※3 電源のON/OFF、撮影の開始と終了、ズーム操作などを繰り返したときに撮影できる時間です。

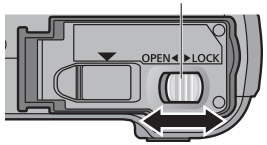
■再生

再生使用時間	約210分

バッテリーやカードを入れる・取り出す



1 電源を「OFF」にし、開閉レバーを
「OPEN」にして、カード/バッテリー扉を開ける



2 バッテリーとカードを奥まで入れる

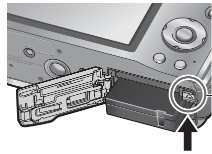
- バッテリー：
  バッテリーを奥まで、ロック音がするまで確実に挿入し、バッテリーにレバーがかかっていることを確認する
- カード：
  「カチッ」と音がするまで押し込む

3 カード/バッテリー扉を閉める

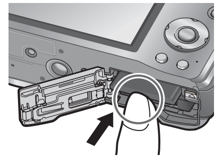
開閉レバーを「LOCK」にする

■取り出すとき

- **バッテリー：**
  レバーを矢印方向へ引く。



- **カード：**
  中央を押す。



●必ず本機専用のライカ純正バッテリーBP-DC7を使用してください。(P.8)
●ライカカメラAGでは、他社製バッテリーの品質については一切保証できません。
●**使用後は、バッテリーを取り出してください。**
●カードやバッテリーの取り出しは、電源を切り、液晶モニターのLEICA表示が消えてから行ってください。(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります)
●誤飲防止のため、メモリーカードはお子様の手の届かない所に保管してください。
●不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

画像の保存先（カードと内蔵メモリー）

■内蔵メモリー（約18 MB）に保存するとき

●カードと内蔵メモリー間で画像をコピーできます。（P.117）

●カードよりも保存に時間がかかることがあります。

■カード（別売）に保存するとき

SD規格に準拠した次のカードが使用できます。

カードの種類	容量	備考
SDメモリーカード	8 MB～2 GB	• 「AVCHD」で動画撮影の際は、SDスピードクラス※が「Class4」以上のカードを使用してください。また、「MOTION JPEG」で動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class6」以上のカードを使用してください。 • それぞれ、対応の機器でのみお使いになれます。 • SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。 • 左記の容量以外のカードは使えません。
SDHCメモリーカード	4 GB～32 GB	
SDXCメモリーカード	48 GB、64 GB	

※SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

（例）　CLASS④　CLASS⑥

●パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。（P.48）

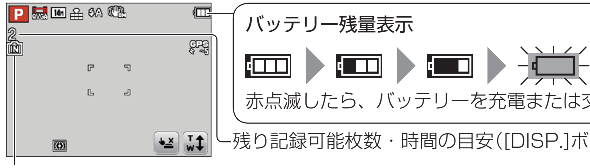
●書き込み禁止スイッチを「LOCK」にすると、撮影や消去、フォーマットなどができません。

●大切な画像はパソコンなどへの保存をおすすめします。
（電磁波や静電気、故障などにより壊れたり消えることがあります）



書き込み禁止スイッチ

バッテリー残量と撮影可能枚数の表示



バッテリー残量表示

（赤点滅）

赤点滅したら、バッテリーを充電または交換してください。

残り記録可能枚数・時間の目安（[DISP.]ボタンを押して切り換え）

カードを入れていないときに表示（内蔵メモリーに保存されます）

記録可能枚数・時間の目安

記録可能枚数・時間はカードの容量と比例して増減します。（撮影条件、カードの種類により変化します）

■記録可能枚数（写真：枚）

記録画素数	内蔵メモリー	2 GB	4 GB	16 GB
4:3 14M	2	330	670	2740
4:3 5M	5	650	1300	5300
4:3 0.3M	99	10050	19940	81340

• 記録可能枚数が99999枚を超える場合は、「+99999」と表示されます。

■記録可能時間（動画撮影時）

撮影モード「AVCHD」の場合

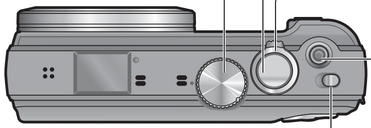
内蔵メモリー	2 GB	4 GB	16 GB
–	14分	29分	2時間4分

撮影モード「MOTION JPEG」の場合

画質設定	内蔵メモリー	2 GB	4 GB	16 GB
HD	–	7分40秒	15分40秒	1時間6分
VGA	–	20分	41分	2時間51分
QVGA	32秒	55分30秒	1時間53分	7時間55分

• 記録可能時間について（P.30）

本機の操作方法について



モードダイヤル
撮影モードを切り換えます。

シャッターボタン
ピントを合わせ、写真を撮影します。

ズームレバー
遠くの被写体を大きく写したいときに操作します。

動画ボタン
動画を撮影します。

電源スイッチ
本機の電源を入り切りします。



撮影／再生切換スイッチ
撮影モード／再生モードを切り換えます。

[EXPOSURE]ボタン
シャッタースピードや絞りを設定するときに操作します。（A S M モード時のみ）

カーソルボタン
メニュー操作をしたり、下記の撮影機能を呼び出します。
▲：露出補正、オートブラケットなど
▼：マクロ撮影など
◀：セルフタイマー
▶：フラッシュ
• 本書では、操作するボタンを▲▼◀▶で表しています。

[MENU/SET]
メニューを表示したり、設定などを決定します。

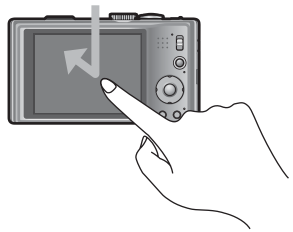
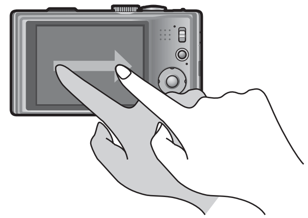
[Q.MENU] 🗑 / ↩ ボタン
撮影モード時：クイックメニュー表示
再生モード時：画像消去
メニュー操作時：前の画面に戻る

[DISP.]ボタン
画面の表示を切り換えます。

タッチパネル
液晶画面でも操作できます。（次ページ）

タッチパネルを使う

本機のタッチパネルは圧力を感知するタイプです。

画面をタッチする タッチパネルを押して離す動作です。	ドラッグする タッチパネルを押したまま動かす動作です。
	
タッチパネルに表示されるアイコンや画像を選択するときなどに使います。 • 複数のアイコンを同時にタッチすると、正常に動作しないことがありますので、アイコンの中央付近をタッチしてください。	画面を水平にドラッグして画像を送ったり、表示している画像の範囲を変更するときなどに使います。

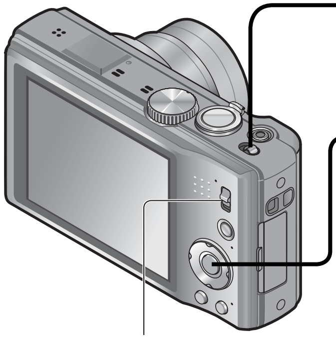
●市販の液晶保護シートをご使用になる場合は、その注意書きに従ってください。（液晶保護シートの種類によっては、視認性や操作性が損なわれる場合があります）
●市販の保護シートをはり付けて使用している場合や、反応しにくいと感じるときは、少し強めにタッチしてください。
●本機を持つ手がタッチパネルを押さえていると、タッチパネルは正常に動作しません。
●ボールペンや爪など、付属のタッチペン以外の先のとがった硬いもので押さないでください。
●液晶モニターが指紋などで汚れた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。
●タッチパネルに表示されるアイコンについては、132ページの「液晶モニターの表示一覧」をお読みください。

■タッチペンについて
指で操作しにくい場合など、細かな作業には、タッチペン（付属）が便利です。
• 付属のタッチペン以外は使わないでください。
• 乳幼児の手の届くところに置かないでください。
• 収納時はタッチペンと液晶モニター（タッチパネル）を重ねないようにしてください。強い圧力がかかると、液晶モニター（タッチパネル）が壊れる原因になります。

時計を合わせる

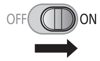
（お買い上げ時は設定されていません）

電源を入れる前に、撮影/再生切換スイッチを[📷]に合わせてください。



撮影/再生切換スイッチ

1 電源を「ON」にする



電源が入ります。

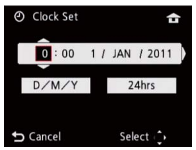
2 メッセージが表示されているときに[MENU/SET]を押す

3 ▲▼で表示言語を選び、[MENU/SET]を押す

- 「時計を設定してください」と表示されます。

4 [MENU/SET]を押す

5 ◀▶を押して項目（年・月・日・時・分・表示順・時刻表示形式）を選び、▲▼を押して設定する



- 中止するとき→ 🗑 / ⮌ ボタンを押す

6 [MENU/SET]を押す

7 設定を確認し、[MENU/SET]を押す

- 前の画面に戻るとき
→ 🗑 / ⮌ ボタンを押す

8 GPS機能を使って自動で時刻を補正する場合は◀で「はい」を選び、[MENU/SET]を押す

- 日時を手動で設定するとき→「いいえ」を選び、[MENU/SET]を押す

9 「ホームエリアを設定してください」と表示されたら、[MENU/SET]を押す

10 ◀▶でお住まいの地域を選択し、[MENU/SET]を押す

都市・地域名　現在時刻



GMT（グリニッジ標準時）との時差

現在時刻とお住まいの地域が設定されます。

- 「GPS設定」が「ON」になります。

時計を合わせ直す

日時を合わせ直すときは、セットアップメニューから「時計設定」を選んで設定します。

- 時計設定はバッテリーを取り出しても、約3ヵ月記憶します。（満充電のバッテリーを入れて約24時間経過した場合）

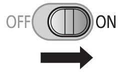
1 撮影メニューまたはセットアップメニューから「時計設定」を選ぶ (P.42)

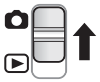
2 日時を設定する（前ページの手順 5 ～ 6 の操作を行う）

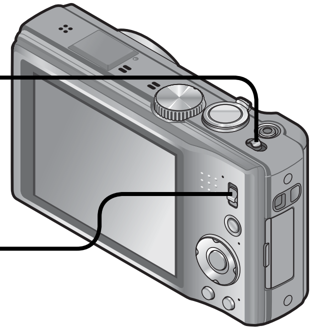
●時計を設定しないと、プリントするときや、「日付焼き込み」、「文字焼き込み」をした場合に正しい日付がプリントされません。

●時計設定を行っていれば、カメラの画面上に日付が表示されていなくても、正しく日付をプリントできます。

操作の流れ

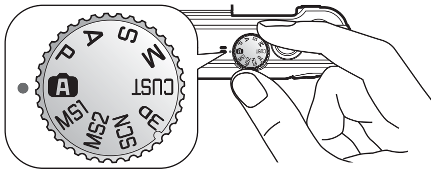
1	電源を入れる 

2	撮影モードにする 



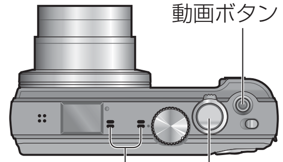
3 お好みの撮影モードに合わせる

使うモードに確実に合わせる→



A	スナップショットモード	カメラにおまかせで撮る。(P.26)
P	プログラムAEモード	お好みの設定で撮る。(P.22)
A	絞り優先AEモード	絞り値を決めて撮る。(P.59)
S	シャッター優先AEモード	シャッタースピードを決めて撮る。(P.60)
M	マニュアル露出モード	絞り値とシャッタースピードを決めて撮る。(P.61)
CUST	カスタムモード	あらかじめ登録しておいた設定で撮る。(P.62)
3D	スライド3D撮影モード	3D写真を撮る。(P.71)
SCN	シーンモード	場面に合わせて撮る。(P.63)
MS1 MS2	マイシーンモード	よく使うシーンモードで撮る。(P.64)

4 カメラを構えて撮影する



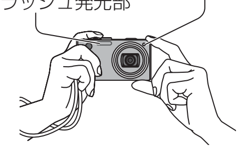
■写真を撮る場合

①シャッターボタンを軽く押してピントを合わせる
②シャッターボタンを押し込んで撮影する

■動画を撮る場合

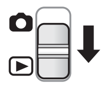
①動画ボタンを押して撮影を開始する
②撮影を終了するときに、もう一度動画ボタンを押す

■カメラの構えかた

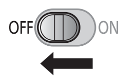


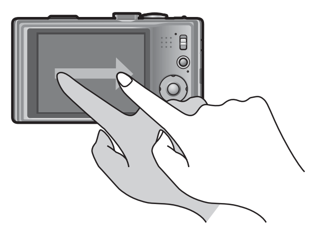
- 手ブレが気になるときは、両手で持ち、脇を締めて、肩幅くらいに足を開く。
- レンズを触らない。
- 動画撮影の際、マイクを指でふさがない。
- フラッシュ発光部、AF補助光ランプをふさがない、近くで見ない。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないように気をつける。

●落下防止のため、ハンドストラップの使用をおすすめします。

5	再生モードにする 

6	画像を見る(P.32)

7	電源を切る 

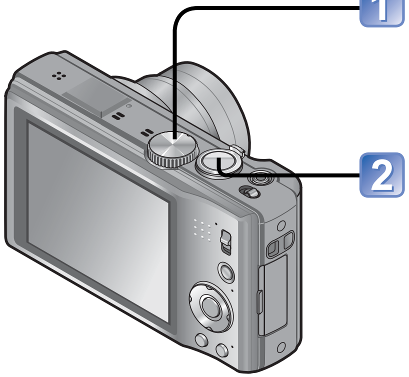


次の画像に送る：右から左にドラッグ
前の画像に戻す：左から右にドラッグ

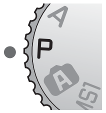
お好みの設定で撮る「プログラムAEモード」

撮影モード：P

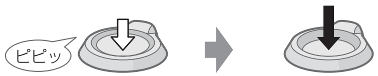
撮影メニューなど、各種設定を変えて、お好みの設定で撮影できます。



1 P（プログラムAEモード）にする

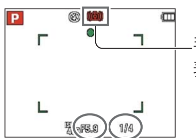


2 撮影する



■画面表示を切り換える
[DISP.]ボタンを押す

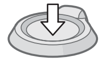
●手ブレ警告表示が表示されたときは、「手ブレ補正」、三脚、「セルフタイマー」などを使用してください。
●絞り値やシャッタースピードが赤色で表示されているときは、適正露出になっていません。フラッシュを使うか、「ISO感度」の設定を変えるか、下限シャッター速度の設定をより低速にしてください。



ピントの合わせかた

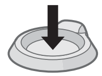
撮りたいものが中央にないときなどに便利です。

1 被写体にピントを合わせる





2 撮りたい構図に戻し、撮影する





●次の被写体や撮影環境では、ピントが合いにくいことがあります。
- 動きの速い被写体
- 非常に明るい、または濃淡のないもの
- ガラス越しや光るものの近くで撮るとき
- 暗いときや手ブレしているとき
- 被写体に近すぎるとき
- 遠くと近くを同時に撮るとき

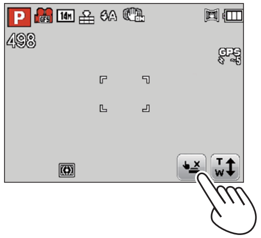
●ピントが合わないときは、フォーカス表示が点滅し、「ピピピピッ」と音がします。
ピントの合う範囲が赤色で表示されますので、参考にしてください。
なお、範囲外ではフォーカス表示が点灯しても、ピントが合っていないことがあります。
●以下の場合、AFエリアは大きく表示されます。
- デジタルズーム時
- 暗いときにピントが合いにくい場合



画面をタッチして撮影する「タッチシャッター」

撮影モード：iA P A S M MS1 MS2 SCN 3D

画面に表示されている被写体をタッチするだけで、ピントを合わせて写真を撮影します。



1 画面の をタッチする

- アイコンが に変わります。

2 撮影したい被写体をタッチする

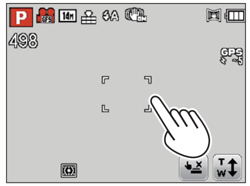
- タッチした場所にピントを合わせて、撮影します。
- タッチシャッターを解除するとき
→ をタッチする

●動画は撮影できません。
●画面の端では、タッチシャッターが働きません。
●意図せずにタッチパネルに触れた場合にもタッチシャッター機能が働きますのでお気をつけください。
●「測光モード」が (スポット測光)の場合、タッチした場所に露出を合わせます。
●タッチシャッターの設定は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。

画面をタッチしてピントや露出を合わせる「タッチAF/タッチAE」

撮影モード：iA P A S M MS1 MS2 SCN 3D

画面に表示されている被写体をタッチして、ピントや露出を合わせることができます。



1 ピントや露出を合わせたい場所をタッチする

- 「オートフォーカスモード」が (顔認識)のときは、引き続き顔の検知を行いますが、ピントはタッチしたところに合わせます。
- 「オートフォーカスモード」が (追尾AF)のときは、被写体をロックし、動きに合わせて自動でピントと露出を合わせ続けます。

2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

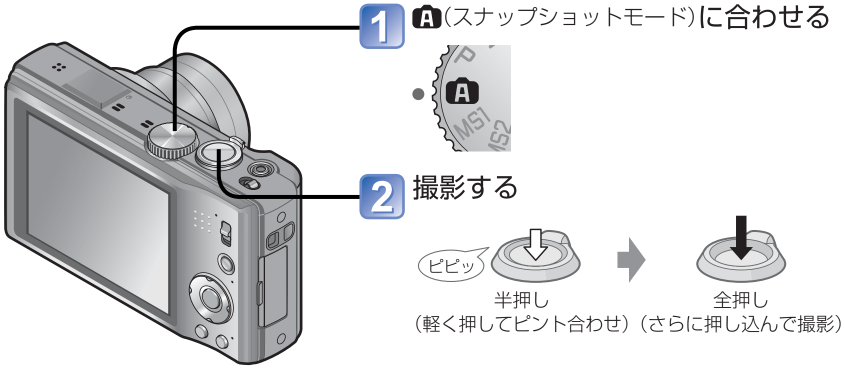
- タッチAF/AEを解除するとき
→ をタッチする

●被写体が小さい、撮影場所が暗いなど、撮影状況によっては、タッチAF/AEに失敗することがあります。
●画面の端では、タッチAF/タッチAEが働きません。
●スナップショットモード時は、タッチした被写体に最適なシーンを判別します。

おまかせで撮る「スナップショットモード」

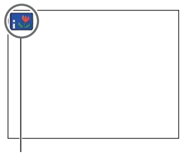
撮影モード：

カメラを被写体に向けると、「顔」「動き」「明るさ」「距離」などの情報から自動で最適な設定になるので、カメラまかせできれいに撮影できます。



自動シーン判別

カメラを被写体に向けると自動でシーンを判別し、最適な設定に自動調整します。



判別した各シーンのアイコン

	「i人物」		「i夜景＆人物」※2（ 選択時のみ）
	「i赤ちゃん」※1		「i夜景」
	「i風景」		「i手持ち夜景」※3
	「i夕焼け」		「iマクロ」
	どのシーンにも当てはまらないとき		

※1 個人認証機能で登録した乳幼児（3歳未満）を認識したとき
※2 三脚やセルフタイマーをおすすめします。
※3 「i手持ち夜景」が「ON」の場合

- 撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンになることがあります。
- 意図したシーンにならないときは、目的にあったシーンモードで撮影することをおすすめします。
- 、、 では、顔認識が働き、認識した顔にピントや露出を合わせます。

フラッシュについて

▶を押して （iオート）または （発光禁止）を選びます。
- のとき、状況に応じて自動で最適なフラッシュに切り換わります（P.52）。
- と は、シャッタースピードが遅くなります。

Happyカラーについて

「カラーモード」（P.95）を「Happy」に設定すると、写真も動画もはっきりとした、あざやかな色調で記録されます。

ブレピタモード

被写体の動きに応じて最適なシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレを抑えます。

■設定
①[MENU/SET]を押す
②▲▼◀▶で「撮影」メニューを選び、[MENU/SET]を押す
③▲▼で「ブレピタモード」を選び、[MENU/SET]を押す
④▲▼で「ON」を選び、[MENU/SET]を押す
- 「ブレピタモード」を「ON」に設定すると、画面に が表示されます。
- 設定している画素数より小さいサイズで記録される場合があります。

i 手持ち夜景

手持ち撮影時に夜景を自動判別すると、連写した画像を合成して、手ブレとノイズの少ない写真を記録できます。

■設定
①[MENU/SET]を押す
②▲▼◀▶で「撮影」メニューを選び、[MENU/SET]を押す
③▲▼で「i手持ち夜景」を選び、[MENU/SET]を押す
④▲▼で「ON」を選び、[MENU/SET]を押す
　写せる範囲が少し狭くなります。

■撮影
①シャッターボタンを半押しする
②シャッターボタンを全押しする
　画面にメッセージが表示されている間はカメラを動かさないでください。
- 三脚などでカメラを固定しているときは、「i手持ち夜景」と判別されません。

追尾AF

被写体が動いていてもピントや露出を合わせ続けることができます。

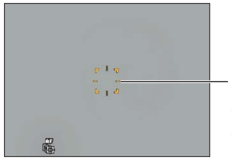
■ボタン操作時

1 ▲を押してオートフォーカスモードを追尾AFにする

• 追尾AFを解除するとき→▲を押す

2 被写体を追尾AF枠に合わせ、▼を押してロックする

• ロックを解除するとき→▼を押す



追尾AF枠
AFロックに成功：黄
AFロックに失敗：赤

■タッチパネル操作時

タッチシャッター機能(P.24)を解除した状態で行ってください。

1 被写体をタッチする

• ロックする被写体を切り換えるとき→別の被写体をタッチする
• 追尾AFを解除するとき→ [OFF] をタッチする

●AFロックした被写体に最適なシーンを自動で判別します。
●追尾AF時、個人認証は働きません。
●被写体が小さいときや暗いときなど、撮影状況によっては、追尾AFが正しく動作しない場合があります。

スナップショットモードの制限

●スナップショットモードで表示されないメニュー項目は設定できません。
●表示されないセットアップメニューの項目は、プログラムAEモードなどで設定した内容が反映されます。
●以下の項目では、他の撮影モードと設定できる内容が異なります。
撮影メニューの「記録画素数」、「カラーモード」、「連写」、セットアップメニューの「操作音」
●次の機能は固定されます。

• オートレビュー：2秒
• ガイドライン表示：[田]
• クオリティ：[ファイン]（ファイン）
• 手ブレ補正：ON
• AF補助光：ON
• 測光モード：[(•)]（マルチ測光）
• 超解像：iA ZOOM
• アクティブモード：ON
• スリープモード：5分
• ホワイトバランス：AWB
• ISO感度：[iISO]
• オートフォーカスモード：[顔認識]（顔認識）※
• クイックAF：ON
• 暗部補正：中
• デジタル赤目補正：ON
• AF連続動作：ON

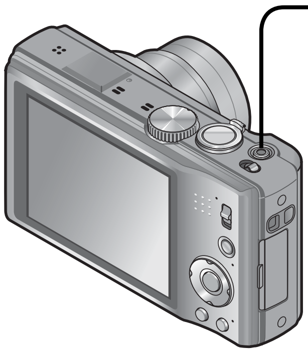
※ 顔が認識できないときは [23点]（23点）

●次の機能は使えません。
「ヒストグラム表示」「露出補正」「オートブラケット」
「ホワイトバランス微調整」「デジタルズーム」「下限シャッター速度」

動画を撮る

撮影モード：[iA] [P] [A] [S] [M] [MS1] [MS2] [SCN]

音声（ステレオ）付き動画を記録します。



1 動画ボタンを押して、撮影を開始する

撮影モード（P.98）と画質設定（P.99）



撮影経過時間　　残り撮影可能時間（目安）

●動画ボタンは押した後すぐに放してください。
●動画撮影中も、ズーム操作ができます。
- ズームスピードは通常より遅くなります。
- 動画撮影時にズーム操作を行うと、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。

●動画撮影中に写真を撮ることができます。（P.101）

2 もう一度動画ボタンを押して、終了する

■撮影可能時間について

MOTION JPEG動画を連続して撮影できるのは、約2 GBまでです。
（画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。）

- **カメラモデル 18 163 / 18 164の場合：**
AVCHD動画を連続して撮影できるのは、「GFS」「FSH」の場合は最大29分までです。

- **カメラモデル 18 162の場合：**
動画を連続して撮影できるのは、最大29分までです。

■[P] での動画撮影

お好みの設定で動画を撮影します。
- 絞りやシャッタースピードは自動で設定されます。

■[iA] での動画撮影

カメラが自動的にシーンを判別し、最適な設定で動画を撮影します。

[iA] どのシーンにも当てはまらないとき	（i人物）	（iローライト）
	（i風景）	（iマクロ）

- （i人物）のときは、認識した顔にピントや露出を合わせます。
- 夜景など、暗いシーンでは（iローライト）となります。
- 意図したシーンにならないときは、目的にあったモードで撮影することをおすすめします。
- 動画メニューのうち、次のメニュー項目が設定できます。
  ・撮影モード　・画質設定

■その他の撮影モードでの動画撮影

詳しくは、それぞれの撮影モードのページをお読みください。（ただし、「スライド3D撮影」モードでは動画撮影はできません）

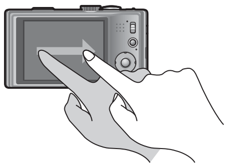
●**画質設定が「GFS」「FSH」の場合、周囲の温度が高かったり、連続で動画撮影を行ったときは、⚠ が表示され、途中で撮影が停止することがあります。**
●記録・消去を何度も繰り返していると、SDカードの記録可能時間が短くなる場合があります。そのときは、本機でSDカードをフォーマットしてください。フォーマットすると、SDカードに記録されているすべてのデータが消去されますので、大切なデータは事前にパソコンなどに保存しておいてください。
●手ブレ補正は、動画撮影前の設定にかかわらず働きます。
●次の機能は使えません。
追尾AF、EX光学ズーム、フラッシュ、個人認証、縦位置撮影時の自動回転表示
●カードによっては、途中で撮影が終了することがあります。
●動画は写真に比べて画面が狭くなる場合があります。また、画像横縦比の設定が写真と動画で異なる場合、動画撮影開始時に画角が変わります。動画記録枠表示（P.44）を「ON」にすると、撮影できる範囲が表示されます。
●動画ボタンを押す前にEX光学ズームを使っていた場合は、それらの設定が解除されるため、撮影範囲が大きく変わります。
●動画撮影時の環境によっては、静電気や電磁波などにより、一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。

画像を見る（通常再生）

再生モード：▶

カードが入っているときはカードの画像を、入っていないときは内蔵メモリーの画像を再生します。

1 画面を水平にドラッグして再生する画像を選ぶ



次の画像に送る：右から左にドラッグ
前の画像に戻す：左から右にドラッグ

- 画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。（画像は縮小して表示されます）

- カーソルボタンの◀▶を押しても、画像を送ることができます。また、長押しすると早送り／早戻しできます。

2 画像を見る



画像番号／トータル枚数
地名情報、緯度・経度情報あり
フォルダー／ファイル番号

■画面表示を切り換える
[DISP.]ボタンを押す

●パソコンで編集した画像は、本機で再生できない場合があります。
●電源を入れた状態で撮影/再生切換スイッチを 📷 から ▶ に切り換えると約15秒後にレンズ鏡筒が格納されます。
●本機は(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格DCF(Design rule for Camera File system)および、Exif(Exchangeable Image File Format)に準拠しています。
DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。

動画を見る

1 動画アイコンが付いた画像を選び、▲を押す

再生が始まります。



動画記録時間
再生を開始すると、画面右上に再生経過時間が表示されます。
例）10分30秒のとき：10m30s

動画アイコン（撮影モードや画質設定により異なる）

■動画再生中の操作

▲：一時停止／再生
▼：終了
◀：早戻し（2段階）
（一時停止中）コマ戻し
▶：早送り（2段階）
（一時停止中）コマ送り

- 早戻し/早送り中に▲を押すと、通常の再生速度になります。
- 音量はズームレバーで調整できます。

●他機で撮影した動画は、正しく再生できないことがあります。
●「AVCHD」で撮影した動画は、一部の情報が表示されません。

画像を見る（通常再生）（つづき）

再生モード：▶

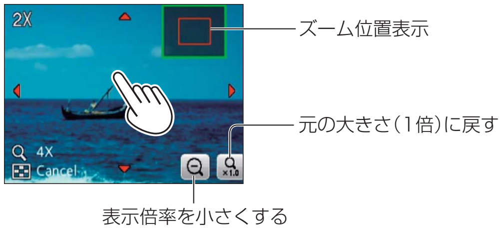
拡大して見る「再生ズーム」

1 拡大したいところをしっかりとタッチする

タッチするごとに1／2／4／8／16倍にズームします。（表示画質は粗くなる）

- ズームレバーをT側に回しても拡大できます。

2 画面をドラッグして、拡大部分の位置を移動する

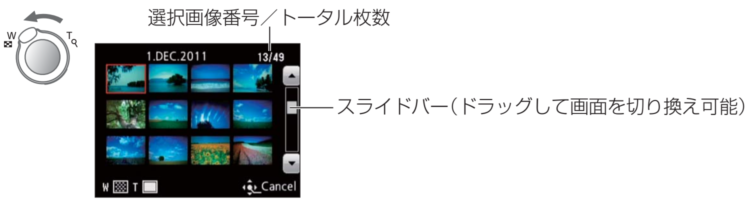


- ズームレバーをW側に回しても拡大倍率を小さくできます。
- カーソルボタンでも拡大部分を移動できます。

●動画再生時は、再生ズームは使えません。

画像を一覧で見る「マルチ再生」

1 一覧で表示する



- ズームレバーをさらにW側に回すと、12画面表示→30画面表示→カレンダー再生に切り換わります。（T側に回すと戻ります）
- 12画面または30画面で画像をタッチすると、1画面表示されます。

●「！」と表示される画像は再生できません。

画像を撮影日ごとに見る「カレンダー再生」

1 ズームレバーを何度かW側に回す

2 表示する撮影日をタッチし、「決定」をタッチする



選んだ日付に撮影された画像が12画面表示されます。

- カーソルボタンで撮影日を選び、［MENU/SET］を押しても決定できます。

●カレンダー画面は、撮影画像のある月のみ表示されます。また、時計設定せずに撮影した画像は、2011年1月1日に表示されます。
●「ワールドタイム」で旅行先を設定して撮った画像は、旅行先の日付でカレンダー画面に表示されます。

画像を消す（消去）

再生モード：▶

カードが入っているときはカードの画像を、入っていないときは内蔵メモリーの画像を消去します。（一度消した画像は元に戻せません）



[DISP.]ボタン

1 消去する画像を表示中に押す

Q.MENU

• 確認画面が表示されます。カーソルボタンで「はい」を選び、[MENU/SET]を押す。

●消去中は、電源を切らないでください。
●十分に充電したバッテリーをご使用ください。
●プロテクトした画像は消去されません。また、次の場合も消去されません。
  • カードのスイッチが「LOCK」になっている
  • DCF規格(P.32)以外の画像

複数消去(100枚※まで)／全画像を消去する

※連写グループは1枚として扱います。（選んだ連写グループ内のすべての画像が消去されます）

（手順 **1** の後に）

2 カーソルボタンで「複数消去」／「全画像消去」を選び、[MENU/SET]を押す



●複数のとき
カーソルボタンで画像を選び、[DISP.]ボタンを押す



選んだ画像

• 解除するとき→再度[DISP.]ボタンを押す
• 実行するとき→[MENU/SET]を押す

• 「全画像消去」のとき「お気に入り」画像があると、「★(お気に入り)以外全消去」が選べます。(P.114)
• 確認画面が表示されます。カーソルボタンで「はい」を選び、[MENU/SET]を押す。
• 消去枚数により、時間がかかることがあります。

メニューを使って設定する

メニュー操作は、以下の手順例を参考に操作してください。

■メニュー画面について



メニュー操作で使うボタン

Ⓐ：[MENU/SET]
- メニュー画面の表示
- 選択項目の決定

Ⓑ：カーソルボタン
- 項目や設定の選択

Ⓒ：🗑 / ↩ ボタン
- 前の画面に戻る

メニュー画面の説明

Ⓓ：メニューの説明
Ⓔ：メニュー項目
Ⓕ：操作の説明

■メニュー操作の流れ

（例）プログラムAEモード中に撮影メニューの「オートフォーカスモード」を変更する場合

メニュー画面を表示する

1 [MENU/SET]を押す

メニュー選択画面が表示されます。

メニューの種類を選ぶ

2 「撮影」メニューを選び、[MENU/SET]を押す

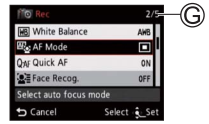
- タッチ操作でもメニューの種類を選択できます。



メニュー項目を選ぶ

3 ▲▼で「オートフォーカスモード」を選び、[MENU/SET]を押す

Ⓖ：ページ
ズームレバーでもページを切り換えられます。

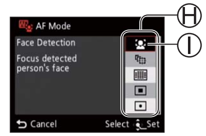


設定を変更する

4 ▲▼を押して設定を選び、[MENU/SET]を押す

選択した内容で設定されます。
- キャンセル→🗑 / ↩ ボタン

Ⓗ：設定内容
Ⓘ：選択されている設定



メニュー画面を終了する

5 🗑 / ↩ ボタンを数回押す

メニューが終了し、元の画面に戻ります。

●本書の操作画面例は、実物と異なる場合や一部を省略している場合があります。
●モードにより、表示されるメニューの種類や項目は異なります。
●メニュー項目により、設定方法が異なります。
●撮影モード時は、シャッターボタン半押しでもメニュー画面を終了できます。

メニューの種類

撮影メニュー(撮影/再生切換スイッチ：📷)

お好みの設定で写真を撮影したい！ （P.87）
• 色合いや感度、横縦比、画素数などが設定できます。

動画メニュー(撮影/再生切換スイッチ：📷)

お好みの設定で動画を撮影したい！ （P.98）
• 画質、データ形式(撮影モード)などが設定できます。

GPSメニュー(撮影/再生切換スイッチ：📷 ▶)

GPS機能を活用したい！ （P.77）
• GPSの設定や地名表示などを設定できます。

セットアップメニュー(撮影/再生切換スイッチ：📷 ▶)

本機をより便利に使いたい！ （P.42）
• 時計設定や操作音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。

再生モードメニュー(撮影/再生切換スイッチ：▶)

撮った画像を見たい！ （P.104）
• スライドショーで見たり、表示する画像を絞り込んだりするなど、再生方法を選べます。

再生メニュー(撮影/再生切換スイッチ：▶)

撮った画像を活用したい！ （P.108）
• 画像の保護、切り抜き、プリント設定など、撮影した画像に対して設定ができます。

●撮影モードにより、次のメニューも表示されます。
• シーンモード時：シーンメニュー(P.63)
• カスタムモード時：カスタムメニュー(P.62)

クイックメニューを使う

撮影時に一部のメニュー項目を簡単に呼び出して設定できます。

1 [Q.MENU]ボタン(🗑 / ↩ ボタン)を押す

2 ◀▶でメニュー項目を選ぶ

3 ▲▼で設定内容を選ぶ

4 [MENU/SET]を押す

●撮影モードにより表示されるメニュー項目と設定項目が異なります。

セットアップメニューを使う

セットアップメニューの設定方法は、38ページへ

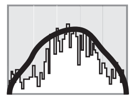
「時計設定」「エコモード」「オートレビュー」は、日時や電源などに関する大切な項目です。使う前に設定を確認してください。

メニュー項目	設定内容・お知らせ
時計設定 (P.18)	日時と表示方法を設定する。
自動時刻合わせ GPSを使って自動で時計を合わせる。(P.83)	ON／OFF
ワールドタイム お住まいの地域と海外旅行先の日時を設定する。(P.85)	**旅行先**：海外旅行先の日時にする。 **ホーム**：お住まいの地域の日時にする。
トラベル日付 旅行何日目かを記録する。(P.84)	**トラベル日付設定** **設定**(出発日と帰着日を記録する)／OFF
	旅行先 **設定**(旅行先を文字で入力する)／OFF
操作音 操作音やシャッター音を変えます。	**操作音音量** ／／：音量小／大／切から選ぶ
	操作音音色 ❶／❷／❸：操作音の種類を選ぶ
	シャッター音音量 ／／：シャッター音量小／大／切から選ぶ
	シャッター音音色 ❶／❷／❸：シャッター音の種類を選ぶ

メニュー項目	設定内容・お知らせ
スピーカー音量 スピーカー音量を調整します。(7段階)	0／1／2／3／4／5／6 • テレビ接続時、テレビのスピーカーの音量は調整できません。
カスタムセット登録 現在のカメラの設定を登録します。(P.62)	C1／C2／C3
液晶モード 液晶モニターを見やすくします。	**オートパワーLCD**：周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整する。 **パワーLCD**：画面を通常よりも明るくする。(屋外向き) OFF • 再生モードでは、「オートパワーLCD」は選択できません。 • 「パワーLCD」は、撮影時に30秒間操作をしないと通常の明るさに戻ります。(いずれかのボタンを押すと再び明るくなります) • 液晶モニターの画面に表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。 • 「液晶モード」を設定すると、撮影枚数や使用時間が減少します。
ガイドライン表示 撮影情報の表示とガイドラインの種類を選びます。	**撮影情報** ON(ガイドライン表示中に撮影情報を表示する)／OFF
	パターン ／：ガイドラインの種類を選ぶ • スナップショットモード時は、のみ表示されます。また、撮影情報とガイドラインを同時に表示することはできません。

セットアップメニューを使う（つづき）

セットアップメニューの設定方法は、38ページへ

メニュー項目	設定内容・お知らせ
ヒストグラム表示 画像の明るさをグラフで見ます。	ON／OFF 山が中央にあるときが適正な明るさ(適正露出)です。 露出補正などの参考にします。 （例） 暗い ← 適正 → 明るい • フラッシュ発光時や暗いところで撮影する場合は、再生時とヒストグラムが一致しないためオレンジ色で表示されます。また、画像編集ソフトなどのヒストグラムと一致しないことがあります。 • (スナップショットモード)、「フォトフレーム」、再生ズーム中は表示されません。
動画記録枠表示 動画で記録できる範囲を撮影前に確認できるようにします。	ON／OFF • 動画記録枠表示は目安です。 • EX光学ズーム使用時は、ズーム倍率により表示されない場合があります。 • スナップショットモードでは設定できません。
ズーム位置メモリー 電源を切ったときのズーム位置を記憶します。	ON／OFF • シーンモードの「自分撮り」では設定できません。

メニュー項目	設定内容・お知らせ
ECO エコモード 使わない間、電源を切ったり、液晶モニターを暗くしてバッテリーの消費を防ぎます。	**スリープモード** **2分／5分／10分／OFF**：設定した時間の間に何も操作をしないとき、自動的に電源が切れる • 再度使うとき→シャッターボタン半押し、または電源を入れ直す • 次のときは働きません。 動画撮影／再生時、スライドショー中、自動デモ再生中 • スナップショットモード時は「5分」に固定されます。 **液晶パワーセーブ** **ON／OFF**：液晶モニターを暗くして消費電力を抑える。 • 撮影中は、液晶モニターの表示画質を下げてバッテリーの消耗を防ぎます。(デジタルズーム領域を除く)ただし、記録される画像に影響はありません。 • 液晶モニターの輝度は「液晶パワーセーブ」よりも「液晶モード」の設定が優先されます。
オートレビュー 撮影直後に写真を自動表示します。	**1秒／2秒** **ホールド**：いずれかのボタン([DISP.]ボタン以外)を押すまで自動再生画面のままにする **OFF** • スナップショットモードは、「2秒」に固定されます。 • 「オートブラケット」、「連写」、シーンモードの「パノラマアシスト」「手持ち夜景」「フラッシュ連写」「フォトフレーム」は、設定にかかわらず撮影直後に自動表示されます。 • 動画はオートレビューできません。

セットアップメニューの設定方法は、38ページへ

メニュー項目	設定内容・お知らせ
番号リセット 画像のファイル番号をリセットします。	• 新しいフォルダーを作成し、ファイル番号を0001にリセットします。 • フォルダー番号は100～999まで作成されます。 フォルダー番号が999になるとリセットできません。 必要な画像をパソコンなどに保存してから本機でフォーマットをしてください。（P.48） • フォルダー番号を100にリセットするには： まず、内蔵メモリーまたはカードを本機でフォーマットし、「番号リセット」で「はい」を選ぶ。その後、フォルダー番号のリセット画面で「はい」を選ぶ。
設定リセット 撮影メニューとセットアップメニューの設定をお買い上げ時の設定に戻します。	**撮影設定** **セットアップ設定** • 撮影設定をリセットすると、「個人認証」で登録したデータもリセットされます。 • セットアップ設定をリセットした場合、以下もリセットされます。 シーンモードの「赤ちゃん」と「ペット」の月齢/年齢と名前、GPSメニュー • フォルダー番号、時計設定はリセットされません。 • レンズ機能のリセットにより、動作音がすることがありますが、異常ではありません。
USBモード USB接続ケーブルでパソコンやプリンターに接続するときの通信方法を選びます。	**接続時に選択**：パソコンまたはPictBridge対応プリンターに接続したときに、毎回「PC」または「PictBridge(PTP)」を選ぶ **PictBridge(PTP)**：PictBridge対応プリンターに接続するときに選ぶ **PC**：パソコンに接続するときに選ぶ
映像出力 本機をテレビなどに接続したときの設定を変更します。	**ビデオ出力方式**（カメラモデル 18 162の場合） **NTSC／PAL** 設定を変更すると、AVCHD動画が再生できなくなる場合があります。 **TV画面タイプ**（AVケーブル接続時に働きます） 16:9／4:3
HDTV Link 本機とHDMIミニケーブル（別売）を使って接続したHDTV Link対応機器を自動的に連動させ、HDTVのリモコンで操作できるように設定します。（P.118）	**ON**：HDTV Link対応機器のリモコンで操作ができるようになります。（すべての操作はできません） 本機のボタンでの操作は制限されます。 **OFF**：本機のボタンでの操作になります。
3Dテレビ出力 3D画像の出力方法を設定します。	**3D／2D** • 3D対応テレビで2D（従来の画像）再生したい場合は、「2D」に設定してください。 • HDMIミニケーブル（別売）接続時に働きます。 • 3D写真を再生する方法については、121ページをお読みください。

メニュー項目	設定内容・お知らせ
回転表示 縦向きに撮った写真を自動的に回転して表示します。	：回転表示ON ：　テレビに接続して再生するときのみ回転表示 OFF • 動画は、回転表示できません。 • レンズの付いた面を上や下に向けて撮影した写真や、他機で撮影した写真は、回転されない場合があります。 • マルチ再生時は回転して表示されません。 • パソコンではExif(P.32)に対応した環境(OS、ソフトウェア)でのみ、回転して表示されます。
バージョン表示 本体のファームウェアのバージョンを確認します。	現在のバージョンが表示されます。
フォーマット 「内蔵メモリーエラー」または「メモリーカードエラー」が表示されたときや、内蔵メモリーまたはカードを初期化するときに行います。 **フォーマットすると、データを元に戻すことができません。よく確認してからフォーマットしてください。**	• 十分に充電したバッテリーが必要です。内蔵メモリーをフォーマットするには、カードを抜いてください。 (カード挿入状態では、カードのみ、カードがない場合は、内蔵メモリーのみフォーマットされます) • フォーマットは、必ず本機で行ってください。 • **プロテクトされた画像も含め、すべてのデータが消去されます。** • フォーマット中は、電源を切ったり、他の操作をしないでください。 • 内蔵メモリーのフォーマットには時間がかかることがあります。 • フォーマットできないときは、ライカのサービス窓口にご相談ください。

メニュー項目	設定内容・お知らせ
タッチパネル調整 タッチしたものと違うものが選択されたり、タッチ操作が反応しなかった場合に調整してください。	①[MENU/SET]を押す ②画面に表示されている「＋」をタッチペン(付属)で順番にタッチする(5ヵ所) ③[MENU/SET]を押す • 正しい位置をタッチできなかった場合、タッチパネル調整は行われません。 「＋」をタッチし直してください。
言語設定 表示言語を切り換えます。	画面に表示された言語を選び、設定します。
DEMO OISデモ 機能のデモを表示します。	手ブレをグラフで表示する(目安)  手ブレ量 補正後の手ブレ量 • デモ画面表示中は、[MENU/SET]を押すごとに、手ブレ補正がONとOFFに切り替わります。 • 再生モード時は、表示できません。

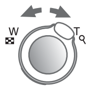
ズームを使って撮る

撮影モード：Ⓐ P A S M MS1 MS2 SCN

「光学ズーム」では16倍、記録画素数を下げると「EX光学ズーム」が働き、最大33.8倍までズームできます。さらにズームしたいときは、「iA ZOOM」や「デジタルズーム」が使えます。

1 ズームする

広く撮る（広角）



大きく撮る（望遠）



ピントが合う範囲
ズーム倍率
ズームバー

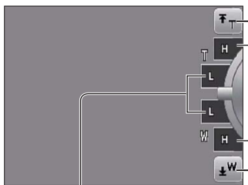
• ズームレバーを回す角度で、ズームの速さを2段階に調整できます。※1

タッチ操作でズームを使う

1 [T/W] をタッチする

液晶画面にズームレバーが表示されます。

2 画面のズームレバーのT側またはW側をタッチする



T端まで速くズームする※1・※2
速くズームする※1
W端まで速くズームする※1・※2
ゆっくりズームする

※1 動画撮影中、ズームの速さは変わりません。
※2 ズーム中にもう一度タッチすると、途中で止まります。

●ピントは、ズームした後に合わせてください。
●ズーム中、レンズ鏡筒には触れないでください。
●倍率、画面のバー表示は目安です。
●ズームレバーを操作すると、多少音がしたり振動したりしますが、故障ではありません。

ズームの種類と用途

記録画素数を変更すると、ズーム倍率が変わります。

■光学ズーム W T

撮影メニューの「記録画素数」で EZ の付いていないものを選んだ場合、最大16倍までズームできます（P.87）。

■EX光学ズーム EZ W T

撮影メニューの「記録画素数」で EZ の付いたものを選んだ場合、最大33.8倍までズームできます（P.87）。EZは、extended optical zoomの略で、EX光学ズームを表します。

●次のとき、EX光学ズームは働きません。
• スナップショットモード（ブレピタモード「ON」時）
• ズームマクロ　• 動画撮影　• 連写の 40 · 60 設定時
• シーンモードの「変身」「高感度」「フラッシュ連写」「ピンホール」「フォトフレーム」「ハイスピード動画」

さらに倍率を上げたいときは、次のズームを併用できます。

■iAズーム i.ZOOM W T

超解像技術によって、画像をほとんど劣化させずに、元のズーム倍率の約1.3倍までズーム倍率を上げることができます。撮影メニューの「超解像」で「iA ZOOM」を選んでください（P.94）。

●「iA ZOOM」にすると、画像に超解像技術が適用されます。
●以下の場合、iAズームが働きます。
• スナップショットモード（ブレピタモード「ON」時を除く）
• シーンモード（「手持ち夜景」「高感度」「フラッシュ連写」「ピンホール」以外）
●「連写」設定時（40、60 のとき）はiAズームが働きません。

■デジタルズーム W T

最大ズーム倍率が光学ズーム、EX光学ズームと比べてさらに4倍になります。ただし、ズームするほど画質は粗くなります。撮影メニューの「デジタルズーム」を「ON」にしてください（P.94）。

●次のとき、デジタルズームは働きません。
• スナップショットモード　• 連写の 40 · 60 設定時
• シーンモードの「変身」「手持ち夜景」「高感度」「フラッシュ連写」「ピンホール」「サンドブラスト」「フォトフレーム」「ハイスピード動画」

フラッシュを使って撮る

撮影モード：iA P A S M MS1 MS2 SCN

1 ▶で「フラッシュ」を表示する

2 カーソルボタンで種類を選び、[MENU/SET]を押す

種類と動作		こんなときに
⚡A	オート • 発光する／しないを自動で判断	通常使用
⚡A◎	赤目軽減オート※1 • 発光する（赤目をおさえる）／しないを自動で判断	暗い場所で人物を撮る
⚡	強制発光 • 必ず発光する	逆光または蛍光灯など照明の下で撮る
⚡◎	赤目軽減強制発光※1 • 必ず発光する（赤目をおさえる）	
⚡S◎	赤目軽減スローシンクロ※1 • 発光する（赤目をおさえ、シャッタースピードを遅くして明るく撮る）／しないを自動で判断	夜景を背景に人物を撮る（三脚をおすすめします）
⊘	発光禁止 • 発光しない	フラッシュ禁止の場所

※1 フラッシュが2回発光します。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。また発光する間隔は被写体の明るさにより異なります。
撮影メニューの「デジタル赤目補正」を「ON」に設定すると、アイコンに が表示され、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。（「オートフォーカスモード」が (顔認識)のときのみ）

■撮影モード別の使えるフラッシュの種類（□：お買い上げ時の設定）

	iA	P A	S M										
⚡A	○※2	○	○	○	**○**	×	○	×	×	×	○	×	**○**
⚡A◎	×	○	○	**○**	×	×	×	×	×	×	×	×	○
⚡	×	○	○	○	○	×	○	×	×	**○**	**○**	×	○
⚡◎	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×
⚡S◎	×	○	×	×	×	**○**	×	**○**	○	×	×	○	×
⊘	○	○	○	○	○	○	**○**	○	**○**	×	○	**○**	○

※2 被写体や明るさに応じて、i⚡A、i⚡A◎、i⚡S◎、i⚡Sになります。
• 動画の撮影やスライド3D撮影モード、シーンモードの 、 、 、 、 、 、 、 、 では、フラッシュは使えません。

■ISO感度「AUTO」設定時のフラッシュ撮影可能範囲

W端時	約60 cm～約5.0 m
T端時	約1.0 m～約2.8 m

●シャッタースピードは次のようになります。
• ⚡A、⚡A◎、⚡、⚡◎：1/60※3～1/4000秒
⚡S◎、⊘：1※3,4～1/4000秒
※3 「下限シャッター速度」の設定によって異なる。
※4 「下限シャッター速度」を「AUTO」に設定している場合、「手ブレ補正」が「ON」のときに手ブレを検知しているときは最大1/4秒。その他、「スナップショットモード」と「シーンモード」のシーンなどによって異なる。
●赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。
●フラッシュ発光部（P.9）を手でふさいだり、近く（数cm）で見たりしないでください。また、ものを近づけないでください。（熱や光で変形することがあります）
●撮影モードを変えるとフラッシュ設定が変わることがあります。
●シーンモードを変えると、フラッシュ設定はお買い上げ時の設定に戻ります。
●ズームを使わずに、至近距離（W端付近）でフラッシュを使って撮影すると、画像の端が暗くなることがあります。少しズームすると改善することがあります。
●⚡A（オート）などのマークが点滅中はフラッシュ充電中のため、撮影できません。
●光が十分に届かないときは、適切な露出やホワイトバランスにならない場合があります。
●バッテリー残量が少ないときや、連続して発光させたときは、フラッシュの充電に時間がかかることがあります。

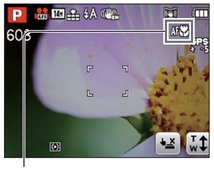
近づいて撮る

撮影モード：P A S M 3D

被写体を大きく撮影したいとき、「AFマクロ(AF)」にすると、通常ピントが合う距離よりも近づいて（W端なら3 cmまで）撮影できます。

1 ▼で「マクロ撮影モード」を表示する

2 カーソルボタンで「AFマクロ」を選び、[MENU/SET]を押す



AF を表示

■「TELE テレマクロ」被写体に近づかずにアップで撮る

「AFマクロ」設定中は、ズームをT端にすると自動的に「テレマクロ」が働き、被写体に1 mまで近づいてもピントが合います。（AF が TELE に変わる）

「ズームマクロ」もっとアップで撮る

被写体をさらに大きく撮影したいときは、「ズームマクロ」にすると「AFマクロ」撮影よりも大きく写し出すことができます。

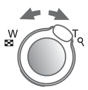
1 ▼で「マクロ撮影モード」を表示する

2 カーソルボタンで「ズームマクロ」を選び、[MENU/SET]を押す

3 ズームレバーでデジタルズームの倍率を調節する

ズーム位置はW端固定となります。ピントの合う距離は、3 cm～∞です。

戻す



拡大する



デジタルズーム倍率（1倍～3倍）

- ズームマクロでは、倍率を上げるほど画質は粗くなります。
- ズームマクロを設定すると、EX光学ズーム、iAズームは働きません。
- スライド3D撮影モードでは、ズームマクロを設定できません。
- 「追尾AF」を設定すると、ズームマクロは解除されます。

ピントの合う範囲（最短撮影距離）

被写体に近づきすぎると、ピントが合いません。ズーム倍率と「マクロ撮影モード」の設定により、最短撮影距離が異なります。

光学ズーム時ズーム倍率（目安）	最短撮影距離※1	
	マクロ撮影モード AF※2	マクロ撮影モード OFF※3
1×	3 cm	50 cm
2×	10 cm	50 cm
3×	20 cm	50 cm
4×	40 cm	50 cm
5×	1 m	1 m
6×	1.5 m	1.5 m
7×～11×	2 m	2 m
12×～15×	1.5 m	2 m
16×	1 m	2 m

※1 最短撮影距離は、レンズ前から被写体までの距離です。また、ズームの位置により段階的に変化します。

※2 次の場合の最短撮影距離も同じです。
- スナップショットモード
- シーンモードの「料理」「キャンドル」「赤ちゃん」「ペット」「高感度」「フラッシュ連写」「ピンホール」「サンドブラスト」「ハイダイナミック」「ハイスピード動画」

※3 次の場合の最短撮影距離も同じです。
- シーンモードの「人物」「美肌」「変身」「パノラマアシスト」「スポーツ」「パーティー」「夕焼け」「星空」「ビーチ」「雪」「フォトフレーム」

- 上記以外のシーンモードは、シーンによってピントの合う範囲が異なります。

- 被写体が遠くにある場合は、ピントが合うのに多少時間がかかります。
- 三脚や「セルフタイマー」の使用をおすすめします。また、近距離で撮影するときは、「フラッシュ」を「発光禁止」に設定することをおすすめします。
- 被写体が近い場合、ピントを合わせた後にカメラを動かすと、ピントが合いにくくなります。
- 画像周辺の解像度が少し下がる場合があります。

セルフタイマーで撮る

撮影モード：iA P A S M MS1 MS2 SCN

三脚の使用をおすすめします。セルフタイマーを2秒に設定すると、シャッターボタンを押したときのカメラのブレを防ぐのにも効果的です。

1 ◀で「セルフタイマー」を表示する

2 カーソルボタンで時間を選び、[MENU/SET]を押す

3 撮影する

シャッターボタンを全押しすると、設定時間後に撮影します。





セルフタイマーランプ
（設定時間の間点滅します）

- カウントダウン中に中止するとき→[MENU/SET]を押す

●シャッターボタンを一度に全押ししても、撮影直前にカメラが自動的にピントを合わせます。
●セルフタイマーランプは点滅後、AF補助光として点灯することがあります。
●動画撮影時は使用できません。
●シーンモードの「自分撮り」では「10秒」は選べません。

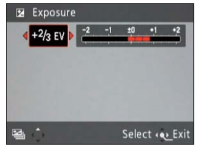
露出を補正して撮る

逆光時や、暗すぎる/明るすぎる場合に露出を補正します。

■撮影モード：P A S MS1 MS2 SCN 3D

1 ▲で「露出補正」を表示する

2 カーソルボタンで値を選び、[MENU/SET]を押す



- 暗すぎるときは、「＋」方向へ補正します。
- 明るすぎるときは、「－」方向へ補正します。
- 露出補正後は、画面左下に補正値（+1/3 など）が表示されます。
- 設定した露出補正値は、電源をOFFにしても記憶されます。

●明るさによっては、補正できない場合があります。
●シーンモードの「星空」では、露出補正ができません。

露出を補正して撮る（つづき）

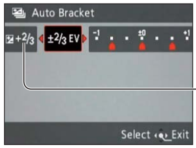
露出を自動的に変えながら撮る「オートブラケット」

露出を自動で変えながら、3枚連写します。「露出補正」後は、補正値を基準にします。

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN

1 ▲を数回押して、「オートブラケット」を表示する

2 カーソルボタンで補正幅を選び、[MENU/SET]を押す



- 1枚目は補正なし、2枚目は－方向へ補正、3枚目は＋方向へ補正した写真になります。
- 電源を切ると解除されます。

●オートブラケットではフラッシュは使えません。
●オートブラケットを設定すると「連写」は解除されます。
●シーンモードの「変身」「パノラマアシスト」「手持ち夜景」「フラッシュ連写」「星空」「ピンホール」「サンドブラスト」「フォトフレーム」および動画撮影時は、オートブラケットは設定できません。

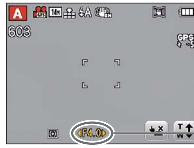
絞りを決めて撮る「絞り優先AEモード」

撮影モード：A

撮影意図に合わせて、ピントが合う範囲（被写界深度）をコントロールして撮影できます。設定した絞り値に合わせて、シャッタースピードを自動調節します。

1 モードダイヤルを[A]に合わせる

2 [EXPOSURE]ボタンを押し、カーソルボタンで絞り値を選ぶ



- 絞りの値を大きくすると、ピントが合う奥行きが広がり、手前から背景までくっきりと写ります。
- 絞りの値を小さくすると、ピントが合う奥行きが浅くなり、背景をぼかしたりできます。

3 [EXPOSURE]ボタンを押して決定する

■A での動画撮影

- 絞りやシャッタースピードは自動で設定されます。

●明るすぎる、暗すぎるなど、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になります。
●液晶モニターの明るさは、実際に撮影される写真と異なる場合があります。

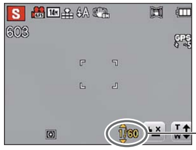
シャッタースピードを決めて撮る「シャッター優先AEモード」

撮影モード：S

撮影意図に合わせて、シャッタースピードをコントロールして撮影できます。
設定したシャッタースピードに合わせて、絞りを自動調節します。

1 モードダイヤルを[S]に合わせる

2 [EXPOSURE]ボタンを押し、カーソルボタンでシャッタースピードを選ぶ



シャッタースピード

- シャッタースピードを速くすると、被写体の動きが止まって写ります。
- シャッタースピードを遅くすると、動いている被写体はブレて写ります。

3 [EXPOSURE]ボタンを押して決定する

■S での動画撮影

- 絞りやシャッタースピードは自動で設定されます。

●明るすぎる、暗すぎるなど、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になります。
●液晶モニターの明るさは、実際に撮影される写真と異なる場合があります。

絞りとシャッタースピードを決めて撮る「マニュアル露出モード」

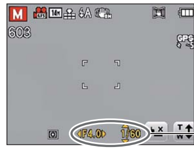
撮影モード：M

露出補正などで望んだ露出(明るさ/暗さ)で撮影できない場合に、絞り値とシャッタースピードを任意に設定できる撮影モードです。また、最大60秒までの長秒撮影ができます。

1 モードダイヤルを[M]に合わせる

- マニュアル露出アシストが表示されます。

2 [EXPOSURE]ボタンを押し、カーソルボタンで絞り値とシャッタースピードを選ぶ



絞り値／シャッタースピード

3 [EXPOSURE]ボタンを押して決定する

■マニュアル露出アシスト(目安)

シャッターボタンを半押しすると、マニュアル露出アシストが表示されます。

	標準的な明るさに写ります。
	明るく写ります。標準的な明るさにするには、シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくします。
	暗く写ります。標準的な明るさにするには、シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくします。

■M での動画撮影

- 絞りやシャッタースピードは自動で設定されます。

●明るすぎる、暗すぎるなど、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になります。
●液晶モニターの明るさは、実際に撮影される写真と異なる場合があります。

お好みの設定を登録して撮る「カスタムモード」

撮影モード：CUST

お好みの撮影モードや撮影メニューの設定などを「カスタムセット」に登録しておくと、モードダイヤルを「CUST」に合わせることで、すぐにその設定に切り換えることができます。

「C? カスタムセット登録」お好みの設定を登録する

現在のカメラの設定を3つまで登録できます。

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN 3D

1. 登録したい撮影モードにし、撮影メニューや動画メニュー、セットアップメニューなどを設定する
2. セットアップメニューから「カスタムセット登録」を選ぶ(P.43)
3. カーソルボタンで登録するカスタムセットを選び、[MENU/SET]を押す

●セルフタイマーは、カスタムセットに保存されません。
●次のセットアップメニューは、カスタムセットに保存されます。
- ガイドライン表示　•ヒストグラム表示　•動画記録枠表示
- ズーム位置メモリー　•オートレビュー

「カスタムモード」お好みの設定に切り換えて撮る

「カスタムセット登録」に登録した設定は、モードダイヤルを「CUST」に合わせることで、すぐに呼び出すことができます。

1. モードダイヤルを[CUST]に合わせる
2. カーソルボタンでカスタムセットを選び、[MENU/SET]を押す
   - ◀▶で登録内容を確認できます。

■CUST での動画撮影

登録されている撮影モードで動画を撮影します。

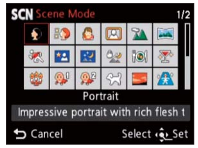
●カスタムモードで撮影メニューなどを変更しても、カスタムセットの内容は変更されません。登録内容を変更するときは、「カスタムセット登録」で再設定してください。

場面に合わせて撮る「シーンモード」

撮影モード：MS1 MS2 SCN

シーンモードを使うと、場面に合った最適な設定（露出や色調など）で撮影できます。

1. モードダイヤルを[SCN]に合わせる
2. カーソルボタンでシーンを選び、[MENU/SET]を押す
   (シーンメニューが表示されないとき→P.38)



■SCN での動画撮影

選択されているシーンに合わせて、最適な設定で動画を撮影します。
- 一部のシーンは、以下のシーンに切り換わります。

選択されているシーン	動画シーン
赤ちゃん	人物動画
夜景＆人物、夜景、手持ち夜景、星空	ローライト動画
パノラマアシスト、スポーツ、ペット、フラッシュ連写、花火、フォトフレーム	通常動画

●場面に合わないシーンを選ぶと、画像の色合いが変わることがあります。
●次の撮影メニューはカメラが自動調整するため、設定できません。
「ISO感度」「測光モード」「暗部補正」「下限シャッター速度」「超解像」「カラーモード」

場面に合わせて撮る「シーンモード」（つづき）

撮影モード：MS1 MS2 SCN

シーンモードの選びかた（P.63）
シーンモードのフラッシュについて（P.52）

よく使うシーンをモードダイヤルに登録する「マイシーンモード」

モードダイヤルの MS1 MS2 には、よく使うシーンモードを登録しておくことができます。登録後は、モードダイヤルを合わせるだけで、登録したシーンモードで撮影できます。

1 モードダイヤルを[MS1]または[MS2]に合わせる

2 カーソルボタンでシーンを選び、[MENU/SET]を押す
（シーンメニューが表示されないとき→P.38）

■登録したシーンを変更したいとき
➡もう一度、登録操作を行う

■MS1 MS2 での動画撮影
登録されている撮影モードで動画を撮影します。

●MS1 MS2 について
どちらも同じ機能です。よく使うシーンをそれぞれに登録できるので、すぐに切り換えられて便利です。
●セットアップメニューの「設定リセット」で「撮影設定」をリセットすると、登録したシーンモードが解除されます。

人物	昼間の屋外で、人物を引き立て、肌色を健康的に。 撮影のコツ ズームの位置はできるだけT側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。
美肌	明るい昼間の屋外で、肌色をなめらかに。胸から上の撮影に効果的です。 撮影のコツ ズームの位置はできるだけT側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。
変身	被写体をスリムまたはグラマラスに。 変身のレベルを選んでください。 お知らせ • 撮影時に肌をきれいに見せる処理をしています。 • 「記録画素数」は、現在の「画像横縦比」の設定により、以下のように固定されます。 4:3 のとき：3M　3:2 1:1 のとき：2.5M　16:9 のとき：2M

自分撮り	自分で自分を撮る。  撮影のコツ • シャッターボタン半押し→ピントが合うとセルフタイマーランプ点灯（点滅：ピントが合っていない）→全押し • シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすいときは、2秒セルフタイマーの使用をおすすめします。
風景	広がりのある遠くの被写体をくっきりと。
パノラマアシスト	複数枚の写真をつないで1枚のパノラマ写真に。 ① カーソルボタンで撮影方向を選び、[MENU/SET]を押す パノラマアシスト専用のガイドラインが表示されます。 ② 撮影する ③「次の撮影」を選び、[MENU/SET]を押す • シャッターボタンを半押ししても決定できます。 • 「撮り直し」を選択すると、改めて撮影できます。 ④ 前回の撮影画像の一部が重なるように構図を変えて撮影する  前回撮影した画像の一部 • 引き続き撮影する場合は「次の撮影」を選び、③④をくり返す。 ⑤ 撮影を終えたら「完了」を選び、[MENU/SET]を押す 撮影のコツ • 三脚を使う。 • 暗いときは、セルフタイマーを使って撮影する。 お知らせ • ピント、ズーム、露出補正、ホワイトバランス、シャッタースピード、ISO感度は、最初の1枚目の設定に固定されます。 • シャッタースピードは最大8秒になります。 • 撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約8秒）になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。 • パノラマ合成は本機ではできません。

場面に合わせて撮る「シーンモード」（つづき）

撮影モード：MS1 MS2 SCN

シーンモードの選びかた(P.63)
シーンモードのフラッシュについて(P.52)

スポーツ	スポーツなど、動きの速いシーンに。 撮影のコツ • 被写体から5 m以上離れる。 お知らせ • シャッタースピードは最大1秒になります。
夜景＆人物	人物と夜景を、見た目に近い明るさで。 撮影のコツ • フラッシュを使う。 • 被写体はなるべく動かない。 • 三脚、セルフタイマーを使う。 お知らせ • シャッタースピードは最大8秒になります。 • 撮影後に、シャッターボタンが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
夜景	夜景を鮮やかに。 撮影のコツ • 三脚、セルフタイマーを使う。 お知らせ • シャッタースピードは最大8秒になります。 • 撮影後に、シャッターボタンが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。
手持ち夜景	三脚がなくても、きれいな夜景を撮りたい。 撮影のコツ • 被写体から5 m以上離れる。 • シャッターボタンを押したあと、連写中はカメラを動かさない。 お知らせ • 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
料理	周囲の光に影響されず、料理を自然な色で。

パーティー	室内の結婚式など、人物と背景を明るく。 撮影のコツ • 被写体から約1.5 m離れる。 • ズーム：広角(W側) • フラッシュを使う。 • 三脚、セルフタイマーを使う。
キャンドル	ろうそくの明かりの雰囲気を引き立てる。 撮影のコツ • フラッシュを使わない。 • 三脚、セルフタイマーを使う。 お知らせ • シャッタースピードは最大1秒になります。
1 2 赤ちゃん	赤ちゃんの肌を健康的に。また、フラッシュ発光時は弱めの光で発光。 • 赤ちゃんの誕生日と名前を設定する。 (「赤ちゃん1」「赤ちゃん2」に別々に設定できます) ① カーソルボタンで「月齢/年齢」または「名前」を選んで[MENU/SET]を押し、「設定」を選んで[MENU/SET]を押す。 ② 誕生日や名前を設定する。 誕生日：カーソルボタンで誕生日を入力し、[MENU/SET]を押す。 名前：(文字入力方法：P.86) ③ カーソルボタンで「終了」を選び、[MENU/SET]を押す。 撮影のコツ • 撮影前に、「月齢/年齢」と「名前」が「ON」になっていることを確認してください。 お知らせ • シャッタースピードは最大1秒になります。 • 「名前」や「月齢/年齢」は、本機の「文字焼き込み」で写真に焼き込むことができます。
ペット	月齢/年齢や名前を記録して撮る。 • 撮影のコツ、お知らせは上記「赤ちゃん」と同じです。

場面に合わせて撮る「シーンモード」（つづき）

撮影モード：MS1 MS2 SCN

シーンモードの選びかた(P.63)
シーンモードのフラッシュについて(P.52)

夕焼け	夕焼けなどの風景の赤色を鮮やかに。
高感度	薄暗い室内で被写体のブレをおさえる。 カーソルボタンで記録画素数(画像横縦比)を選び、[MENU/SET]を押す
フラッシュ連写	暗いところで連写したいときに。 ① カーソルボタンで記録画素数(画像横縦比)を選び、[MENU/SET]を押す ② 撮影する(シャッターボタン長押し) シャッターボタンを押している間、写真を連続して撮影します。 連写枚数：最大5枚 お知らせ • セルフタイマー使用時は5枚撮影されます。 • ピント、ズーム、露出補正、シャッタースピード、ISO感度は、最初の1枚目の設定に固定されます。
星空	星空や暗い被写体を鮮明に。 • シャッタースピードの選択 ① カーソルボタンで選び、[MENU/SET]を押す ② シャッターボタンを押す 撮影のコツ • 必ず三脚を使う。 • セルフタイマーを使う。 • 画面のカウントダウンが終了するまでカメラを動かさない。(このあと、処理のためのカウントダウンが再度表示されます)

花火	夜空に上がる花火をきれいに。 撮影のコツ • 被写体から10 m以上離れる。 • 三脚を使う。 お知らせ • シャッタースピードは1/4秒または2秒に固定されます。 (露出補正するとシャッタースピードは変わります)
ビーチ	海や空の青色を鮮明に、人物を暗くしない。 お知らせ • ぬれた手で触らないでください。 • カメラに砂や海水がかからないように気をつけてください。
雪	スキー場や雪山で、雪景色を自然な色で。
空撮	飛行機からの窓越しの景色に。 お知らせ • **離着陸時は電源を切ってください。**
ピンホール	画面の周囲を暗くして、レトロな雰囲気に。
サンドブラスト	ざらざらとした感じの白黒画像に。
ハイダイナミック	逆光の風景や夜景などのシーンで、白飛び・黒つぶれを抑える。 カーソルボタンで効果を選び、[MENU/SET]を押す STD.：自然な色合いの効果 ART：コントラストと色を強調した印象的な効果 B&W：白黒の効果 お知らせ • シャッタースピードは最大8秒になります。 • 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。

場面に合わせて撮る「シーンモード」(つづき)

撮影モード：MS1 MS2 SCN

フォトフレーム	**フレームを一緒に焼き込む。** カーソルボタンでフレームを選び、[MENU/SET]を押す お知らせ • 記録画素数は2M(4:3)となります。 • ガイドライン表示はできません。
ハイスピード動画	**すばやい動きを220コマ/秒で高速記録。** ①動画ボタンを押して、撮影を開始する ②もう一度動画ボタンを押して、終了する • シャッターボタンでも動画撮影を開始／終了できます。(タッチシャッターは働きません) • 再生時に、肉眼ではとらえられない被写体の動きをスローモーションで再生できます。 お知らせ • 内蔵メモリーには記録できません。 • MOTION JPEG動画のQVGAで記録されます。(1回の撮影では最大2 GB、約7分20秒まで) • 音声は記録されません。 • ハイスピード動画撮影中は、写真を撮影できません。 • ピント、ズーム、露出、ホワイトバランスは撮影開始時に固定されます。 • 手ブレ補正は働きません。 • オートフォーカスモードは ■(1点)となります。 • 蛍光灯下でちらつきや横しまが出る場合があります。

3D写真を撮る「スライド3D撮影モード」

撮影モード：3D

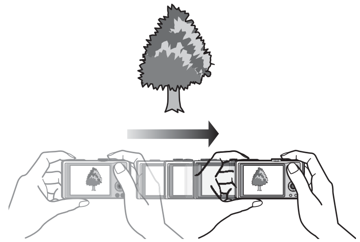
カメラを水平に動かしている間に連続撮影をして、1枚の3D写真を合成します。
3D写真を見るには3D対応テレビが必要です。(本機では2Dで再生されます)
再生方法については、121ページをお読みください。

1 モードダイヤルを[3D]に合わせる

• 撮影方法の説明が表示されます。
　確認して、[MENU/SET]を押してください。

2 撮影を開始し、本機を左から右へまっすぐ水平にスライドする

• 撮影中はガイドが表示されます。
• ガイドを目安にして約4秒間で10 cm程度カメラをスライドしてください。



撮影のテクニック
• 動きのない被写体を撮影する
• 屋外などの明るい場所で撮影する
• シャッターボタンを半押しして、ピント・露出を固定してから、シャッターボタンを全押ししてカメラをスライドする
• 被写体を中心よりやや右寄りに合わせて撮影を始めると、被写体が中心に寄りやすくなります

●**3D写真の縦撮影には対応していません。**
●3D写真はMPO形式(3D)で記録されます。
●ズーム位置はW端に固定されます。
●記録画素数は、2M 16:9 固定となります。
●「ISO感度」は自動的に調整されます。ただし、シャッタースピードを高速にするため、ISO感度は高めになります。
●動画撮影はできません。
●以下の場合など、撮影状況によっては撮影できない場合があります。また撮影できても、写真に立体効果が得られなかったり、ゆがみが生じたりする場合があります。
　• 被写体が暗すぎる／明るすぎる
　• 被写体の明るさが変わる
　• 被写体が動いている
　• 濃淡の少ないもの

連写する

撮影モード：Ⓐ P A S M MS1 MS2 SCN

シャッターボタンを全押ししている間、連続して写真を撮ることができます。

1 撮影メニューから「連写」を選ぶ

2 カーソルボタンで連写の設定を選び、[MENU/SET]を押す

<table>
<tr><th>設定</th><th>連写速度</th><th>内容</th><th>最大記録枚数</th></tr>
<tr><td></td><td>約2～
約10コマ/秒</td><td>• 人やペットなどの動きに合わせて、連写速度を自動で調整します。（おまかせ連写）
• スナップショットモード時のみ設定できます。</td><td>100枚</td></tr>
<tr><td>2AF</td><td>約2コマ/秒</td><td rowspan="2">• 連写速度に合わせ、可能な範囲でピントを調整します。また、露出やホワイトバランスも調整しながら連写します。
（ただし、動画撮影中の連写撮影では、ピントは1枚目に固定されます。）
• 撮影状態により、連写速度が低下する場合があります。</td><td rowspan="2">100枚</td></tr>
<tr><td>5AF</td><td>約5コマ/秒</td></tr>
<tr><td>10</td><td>約10コマ/秒</td><td>• ピント、露出、ホワイトバランスは1枚目の設定に固定されます。</td><td>15枚</td></tr>
<tr><td>40</td><td>40コマ/秒</td><td>• ピント、露出、ホワイトバランスは1枚目の設定に固定されます。
• 設定できる記録画素数
<table>
<tr><th>画像横縦比</th><th>記録画素数</th></tr>
<tr><td>4:3</td><td>5M、3M、0.3M</td></tr>
<tr><td>3:2</td><td>4.5M、2.5M、0.3M</td></tr>
<tr><td>16:9</td><td>3.5M、2M、0.2M</td></tr>
<tr><td>1:1</td><td>3.5M、2.5M、0.2M</td></tr>
</table></td><td>50枚</td></tr>
<tr><td>60</td><td>60コマ/秒</td><td>• ピント、露出、ホワイトバランスは1枚目の設定に固定されます。
• 撮影できる範囲が狭くなります。
• 設定できる記録画素数
<table>
<tr><th>画像横縦比</th><th>記録画素数</th></tr>
<tr><td>4:3</td><td>2.5M、0.3M</td></tr>
<tr><td>3:2</td><td>3M、0.3M</td></tr>
<tr><td>16:9</td><td>3.5M、0.2M</td></tr>
<tr><td>1:1</td><td>2M、0.2M</td></tr>
</table></td><td>60枚</td></tr>
<tr><td>OFF</td><td>–</td><td>連写を解除します。</td><td>–</td></tr>
</table>

- 40、60 で撮影した画像は、まとめて記録されます。（連写グループ）（P.101）
- 10、40、60 で撮影した場合、被写体の明るさの変化によっては、2枚目以降が明るく撮れたり、暗く撮れたりする場合があります。
- 暗い場所でシャッタースピードが遅くなる場合は、連写速度が遅くなることがあります。
- 40 または 60 で、動いている被写体やカメラを動かして連写した写真は、画像がゆがむ場合があります。
- 「オートブラケット」は解除されます。
- フラッシュは Ⓢ(発光禁止)となります。
- 電源を切っても、設定は記憶されます。
- シーンモードの「パノラマアシスト」「手持ち夜景」「フラッシュ連写」「星空」「花火」「ピンホール」「フォトフレーム」では連写は設定できません。
- シーンモードの「高感度」では 40、60 に設定できません。
- セルフタイマー使用時は3枚撮影されます。
- 連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。

個人認証機能を使って撮る「個人認証」

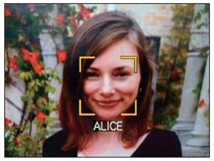
撮影モード：Ⓐ P A S M MS1 MS2 SCN

お買い上げ時、「個人認証」は「OFF」に設定されています。
顔画像を登録すると自動的に「ON」になります。

■個人認証機能の働き

撮影時（オートフォーカスモード：（顔認識）の場合）
- 登録した顔を認識し、ピントと露出を合わせる
- 名前を設定して登録した顔を認識すると、名前を表示（3人まで）

再生時
- 名前や月齢/年齢を表示（情報を登録している場合）
- 撮影時に認識した顔に設定された名前を表示（3人まで）
- 選んだ登録人物の画像のみを再生「カテゴリー選択」



■顔画像登録時の撮影ポイント
- 目を開き、口を閉じた状態で正面を向き、髪の毛で顔の輪郭、目や眉が隠れないようにする。
- 顔に極端な陰影が出ないようにする。（登録時、フラッシュは発光しません）

■撮影時に認証されにくいと感じたら
- 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加で登録する。
- 撮影するその場で追加して登録する。
- 登録している人物を認証しなくなった場合は、登録し直す。

●連写撮影時は、1枚目のみ個人認証に関する撮影情報が付加されます。
●シャッターボタンを半押ししたあとで、違う被写体にカメラを向けて撮影をした場合、異なる人物の撮影情報が付加される場合があります。
●次のときは個人認証が働きません。
動画撮影、シーンモードの「変身」「パノラマアシスト」「夜景」「手持ち夜景」「料理」「フラッシュ連写」「星空」「花火」「空撮」「サンドブラスト」
●個人認証は、登録した顔に近い顔を探しますので、確実な人物の認証を保証するものではありません。登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。
●個人認証情報を登録していても、名前を「OFF」で撮影した画像は、「カテゴリー選択」の個人認証に分類されません。
●**個人認証情報を変更した場合でも、すでに撮影した画像の認証情報は変更されません。**
例えば、名前を変更すると、変更前に撮影した画像は「カテゴリー選択」の個人認証に分類されなくなります。
●撮影した画像の名前情報を変更するには「認証情報編集」の「入換え」（P.116）を行ってください。

顔画像を登録する

最大6人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。
同じ人物の顔画像を複数枚登録するなど（一登録につき最大3枚）、顔登録のしかたを工夫することにより個人認証されやすくなります。

1 撮影メニューから「個人認証」を選ぶ（P.38）

2 カーソルボタンで「登録」を選び、［MENU/SET］を押す

3 カーソルボタンで「新規登録」を選び、［MENU/SET］を押す
- すでに6人登録されているときは、まず、登録されている人物を解除してください。（次ページ）

4 顔画像を撮影する
①ガイドに顔を合わせて撮影する
②カーソルボタンで「はい」を選び、［MENU/SET］を押す
- 撮り直す場合は「いいえ」を選ぶ
- 人物以外の被写体の顔（ペットなど）は、登録できません。
- ［DISP.］ボタンを押すと、説明が表示されます。

5 ▲▼で編集項目を選び、［MENU/SET］を押す

名前	①カーソルボタンで「設定」を選び、［MENU/SET］を押す ②名前を入力する（文字入力方法：P.86）
月齢/年齢	誕生日を設定します。 ①カーソルボタンで「設定」を選び、［MENU/SET］を押す ②◀▶で年月日を選び、▲▼で設定し、［MENU/SET］を押す
フォーカスアイコン	ピントが合うときに表示されるアイコンを変更します。 ①カーソルボタンでフォーカスアイコンを選び、［MENU/SET］を押す
追加登録	顔画像は3枚まで登録できます。 ①未登録の枠を選び、［MENU/SET］を押す • カーソルボタンで登録済みの顔画像を選ぶと、解除の確認画面が表示されます。「はい」を選ぶと、顔画像が消去されます。（画像が1枚しか登録されていない場合は、解除できません。） ②撮影する（上記、手順 4） ③🗑 / ↶ ボタンを押す

個人認証機能を使って撮る「個人認証」(つづき)

撮影モード：iA P A S M MS1 MS2 SCN

■個人認証機能を「OFF」にするとき

①撮影メニューから「個人認証」を選ぶ
②カーソルボタンで「OFF」を選び、[MENU/SET]を押す

登録した人物の情報を編集／解除する

登録した人物の情報を修正したり、解除したりできます。

1 前ページの手順 3 で編集または解除する人物を選び、[MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで項目を選び、[MENU/SET]を押す

情報編集	名前など、登録した情報を修正します。(前ページ)
登録順	ピントや露出の優先順位を設定します。 ①カーソルボタンで登録順を選び、[MENU/SET]を押す
解除	登録した人物の情報や顔画像を消去します。

GPSで撮影した位置を記録する

撮影モード：iA P A S M MS1 MS2 SCN 3D

お使いの前に、7ページの「GPSについて」と、147ページの「地名データ使用許諾契約書」をお読みください。

GPSについて
グローバル・ポジショニング・システム (Global Positioning System)の略で、GPS衛星を利用して自分の位置を確認することができるシステムです。
複数のGPS衛星から軌道情報と時刻情報を含む電波を受信して現在位置を計算することを「測位」といいます。
本機は、3つ以上のGPS衛星からの電波を受信できた場合、測位できます。

重要
中国および中国と隣接する周辺国の国境付近では、GPSの使用が規制されています(香港とマカオは除く)。違反すると刑罰の対象になることがあるため、これらの国や地域では本機のGPS機能は自動的に働かなくなります。

測位に失敗しないために
- 屋外の空のひらけた場所でGPSアンテナを上空に向け、カメラをしばらく静止した状態で使用することをおすすめします。
- 次のような場所では、GPS衛星からの電波が正しく受信できないため、測位できなかったり、大きな誤差が発生する場合があります。
  - 屋内
  - 電車や車などで移動中
  - トンネルの中
  - 地下
  - ビルの近くや谷間
  - 1.5 GHz帯の携帯電話などの近く
  - 森の中
  - 高圧電線の近く
- GPSアンテナは、手などで覆わないでください。
- 測位しながら本機を持ち運ぶときは、金属製のかばんなどに入れないでください。金属などでおおわれると測位できません。

GPSで撮影した位置を記録する（つづき）

撮影モード：iA P A S M MS1 MS2 SCN 3D

GPSメニューの設定方法は、38ページへ

GPSを使う

1 GPSメニューから「GPS設定」を選ぶ(P.38)

2 カーソルボタンで「ON」または ✈GPS を選び、[MENU/SET]を押す

• 解除するとき→「OFF」を選ぶ

GPS設定	説明
ON	本機の電源をOFFにしても定期的に測位を継続します。
✈GPS	本機の電源がONのときのみ、測位します。 （電源OFF時は測位しません。）
情報	現在の受信状態が確認できます。(P.80)

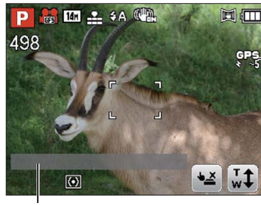
■飛行機の機内や病院などでは

「GPS設定」を「ON」に設定していると、電源をOFFにしても、GPS機能が働きます。本機からの電磁波などが計器類に影響を及ぼすことがありますので、離着陸時や使用を禁止された区域では、「GPS設定」を「OFF」または ✈GPS に設定のうえ、本機の電源をOFFにしてください。

• 電源OFF時に、定期的にGPS動作ランプが点灯するときは、「GPS設定」が「ON」になっています。

■「GPS設定」を「ON」または ✈GPS に設定すると

撮影モード時は、液晶モニターに測位状況を示すアイコンが表示されます。
また、測位に成功すると、本機に現在位置が記憶され、画面に地名情報が表示されます。



地名情報

アイコン	測位成功後の経過時間
GPS ~5	5分以内
GPS ~60	5分前～1時間前
GPS ~120	1時間前～2時間前
GPS 120~	2時間以上前
GPS（×）	測位できていません

●初めて測位するときや、「GPS設定」を ✈GPS にして電源を切ったり、「OFF」に設定すると、再び電源を入れて測位した場合、電波の受信状態が良くても測位成功までに約2～3分かかります。

●本機に記憶された現在位置の情報は、次のタイミングで消去されます。（撮影時に画像に記録した情報は消えません）
- 「GPS設定」を「OFF」にしたとき
- 「GPS設定」を ✈GPS にして電源をOFFにしたとき
- 「設定リセット」でセットアップ設定をリセットしたとき

■撮影した画像に記録される情報

●測位に成功すると、撮影した写真や動画※1（画質設定「FSH」および「SH」を除く）に次の情報が記録されます。
- 緯度／経度※2
- 地名情報（国／地域、県／州、市区／郡、町／村、ランドマーク）

※1 撮影開始時の情報のみ記録されます。
※2 本機には表示されません。

●再生時に GPS が表示されます。

■地名情報について

●地名情報は、測位した緯度･経度をもとに本機のデータベースから地名やランドマークを検索し、最適なものを表示します。（最短距離にあるものを表示しない場合があります）
- 適した地名やランドマークがない場合は、測位に成功していても「---」と表示されます。表示が「---」の場合でも「GPS地名変更」で地名情報を選択できる場合があります。(P.81)
- 希望のランドマークが登録されていない場合があります。ランドマークなど、地名情報は2010年12月現在のものです。（ランドマークの種類→P.151）

●地名情報（地名やランドマーク名）は正式な名称とは異なる場合があります。

GPSで撮影した位置を記録する（つづき）

撮影モード：iA P A S M MS1 MS2 SCN 3D

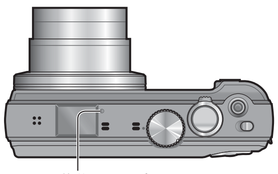
GPSメニューの設定方法は、38ページへ

今すぐ測位して現在位置を更新する

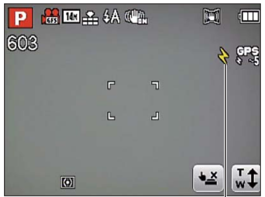
表示されている地名などがずれていたり、測位に失敗している場合は、GPS衛星の電波を受信しやすい場所に移動し、測位更新を行ってください。

1 GPSメニューから「測位更新」を選ぶ

測位を開始します。
測位中はGPS動作ランプが点灯します。



GPS動作ランプ



測位中

- クイックメニュー（P.41）に表示されているGPS設定の「GPS」または を選んでクイックメニューを閉じると、測位更新します。

■測位の間隔について

測位更新を行わなくても、「GPS設定」が「OFF」以外の場合は、電源ON直後および一定時間間隔で自動的に測位を試みます。
また、「GPS設定」が「ON」のときは、電源OFF時も、一定時間間隔で測位を試みます。
ただし、次の場合は測位を中断します。
- バッテリー残量が減り、 となった場合
- 一定時間、電源をONにしなかった場合

■GPSの受信状態を表示する

①GPSメニューから「GPS 設定」を選ぶ
②カーソルボタンで「情報」を選び、[MENU/SET]を押す
- さらに[MENU/SET]を押すと、測位を開始できます。

●画面の見かた
：測位した時刻
：受信したGPS 衛星の数
：緯度
経度

記録する地名情報を変更する

測位結果に他の候補地があるときは、近隣の地名やランドマークに変更できます。
- 他の地名情報を選択できる場合は、地名情報の前に が表示されます。

1 GPSメニューから「GPS地名変更」を選ぶ

2 カーソルボタンで変更する項目を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで表示される候補から地名やランドマークを選び、[MENU/SET]を押す

■地名やランドマークを記録しないとき

上記の手順 2 で「全地名を消去」を選ぶと、地名やランドマークは記録されません。
また、手順 3 で「～を消去」を選ぶと、選択した地名より下位の地名やランドマーク（例えば、「市区／郡」を消去した場合は、「町／村」や「ランドマーク」）が記録されません。
- ただし、緯度や経度は記録されます。記録したくない場合は、「GPS設定」を「OFF」にしてください。
- 記録しないように設定した地名やランドマークを元に戻す場合は、もう一度「GPS地名変更」を行ってください。

●大きな公園などでは、ランドマークが表示されなかったり、異なるランドマークが表示されることがあります。「GPS地名変更」で希望のランドマークが選択できない場合は、撮影前に「マイランドマーク登録」を行うか（次ページ）、撮影後に「GPS地名編集」を行ってください。（P.109）

GPSで撮影した位置を記録する（つづき）

撮影モード：Ⓐ P A S M MS1 MS2 SCN 3D

GPSメニューの設定方法は、38ページへ

現在位置をランドマークに登録する

本機に登録されていない個人的な場所をランドマークとして登録し、測位したときに表示したり、画像に記録したりできます。（最大50件）
あらかじめ、登録したい地点に移動し、測位可能な場所で操作してください。

1 GPSメニューから「マイランドマーク登録」を選ぶ

2 カーソルボタンで「未登録」を選び、［MENU/SET］を押す

3 カーソルボタンで「はい」を選び、［MENU/SET］を押す
測位が開始されます。

4 ［MENU/SET］を押す
- 測位に失敗した場合
→測位可能な場所に移動してから、カーソルボタンで「はい」を選び、［MENU/SET］を押す。

5 ランドマーク名を入力する（文字入力方法：P.86）

■登録したランドマークを編集／解除する
①上記の手順 2 で登録済みのランドマークを選び、［MENU/SET］を押す
②項目を選び、［MENU/SET］を押す

編集	ランドマーク名を修正します。
解除	登録したランドマークを解除します。

地名情報の表示を変更する

測位した地名情報の画面表示を変更できます。

1 GPSメニューから「地名表示設定」を選ぶ

2 カーソルボタンで表示を変更する項目を選び、［MENU/SET］を押す

3 カーソルボタンで表示する項目は「ON」を、表示しない項目は「OFF」を選び、［MENU/SET］を押す

GPSを使って時計を合わせる

GPSの電波に含まれる日時の情報を用いて、本機の「時計設定」を自動で更新できます。お住まいの地域から時差のある地域に移動したときも、測位に成功すると自動的に現地時間に合わせます。

1 セットアップメニューから「自動時刻合わせ」を選ぶ

2 カーソルボタンで「ON」を選び、［MENU/SET］を押す

3 「時計を合わせる」の手順 6 （P.19）以降の操作を行う（初回のみ）

●「自動時刻合わせ」を「ON」に設定すると、「ワールドタイム」が「旅行先」に設定されます。
●「自動時刻合わせ」で補正される日時は、電波時計のように正確ではありません。正しく補正されない場合は、「時計設定」で合わせ直してください。

旅行先で便利な機能

セットアップメニューの設定方法は、38ページへ

「トラベル日付」旅行日を記録する

旅行の日程を設定して撮影すると、旅行何日目に撮影したかが記録されます。

■撮影モード：iA※ P A S M MS1 MS2 SCN 3D

※記録のみ（設定不可）

1 セットアップメニューから「トラベル日付」を選ぶ

2 カーソルボタンで「トラベル日付設定」を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで「設定」を選び、[MENU/SET]を押す

4 カーソルボタンで出発日を選択し、[MENU/SET]を押す

5 カーソルボタンで帰着日を選択し、[MENU/SET]を押す

■「旅行先」を記録する場合

「トラベル日付設定」が設定されているときは、旅行先を設定できます。

①上記の手順 2 で「旅行先」を選ぶ
②カーソルボタンで「設定」を選び、[MENU/SET]を押す
③旅行先を入力する（文字入力方法：P.86）

- ●トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。「ワールドタイム」で旅行先を設定したときは、旅行先の日付をもとに経過日数を表示します。
- ●「トラベル日付設定」を「OFF」に設定すると、経過日数は記録されません。撮影後に「トラベル日付設定」を「設定」にしても表示されません。
- ●出発日前はオレンジ色で「－○日目」と表示されます。（出発日までは記録されません）
- ●トラベル日付が白色で「－1日目」と表示される場合は、「ホーム」と「旅行先」との間に、日付をまたぐ時差があります。（記録されます）
- ●「旅行先」は、GPS機能で画像に記録される地名情報とは別で記録されます。
- ●経過日数や旅行先をプリントするときは、「文字焼き込み」を行ってください。
- ●画質設定「FSH」「SH」で記録したAVCHD動画には、「トラベル日付」を設定できません。

「ワールドタイム」旅行先の日時を設定する

撮影日時を旅行先の現地時間に合わせます。

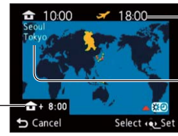
■撮影モード：iA P A S M MS1 MS2 SCN 3D

1 セットアップメニューから「ワールドタイム」を選ぶ

- お買い上げ時は、メッセージが表示されます。その場合は、[MENU/SET]を押して手順 3 へ。

2 カーソルボタンで「ホーム」または「旅行先」を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで地域を選択し、[MENU/SET]を押す



「旅行先」の場合

■サマータイムを設定する場合

手順 3 で▲を押す（再度、押すと解除）

- サマータイムを設定すると、現在時刻が1時間進みます。設定を解除すると、自動的に戻ります。

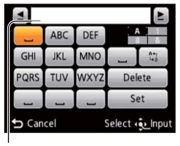
- ●画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。
- ●旅行先で撮影された画像には、再生時、画面に ✈ が表示されます。
- ●「自動時刻合わせ」が「ON」の場合、「旅行先」のサマータイム設定のみ変更できます。

文字を入力する

個人認証機能やシーンモードの「赤ちゃん」「ペット」の名前、「トラベル日付」の旅行先などを登録するときは、カーソルボタンを使って文字を入力します。

1 カーソルボタンで文字を選ぶ

2 希望の文字が表示されるまで[MENU/SET]を押す



カーソル位置

カーソル位置に文字が入力されます。
- 文字の種類を切り換えるとき
  →「切換」を選び、[MENU/SET]を押す

■文字を修正するとき
①カーソルボタンで修正する文字にカーソルを移動する
- ズームレバーでもカーソル位置を移動できます。

②カーソルボタンで「消去」を選び、[MENU/SET]を押す
③カーソルボタンで正しい文字を選び、[MENU/SET]を押す

3 入力が終わったら、カーソルボタンで「決定」を選び、[MENU/SET]で終了する

●入力できる文字数(\ 、「、」、・、ー、歳、カ、月、日は2文字として扱います)
かな カナ：最大15文字(「個人認証」の名前は最大6文字)
上記以外：最大30文字(「個人認証」の名前は最大9文字)
●漢字は入力できません。

撮影メニューを使う

撮影メニューの設定方法は、38ページをお読みください。

「画像横縦比」写真の横縦比を変える

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN
■設定：4:3／3:2／16:9／1:1
●プリント時に端が切れる場合があるので、事前に確認してください。

「記録画素数」写真の画素数を設定する

画像(粒子)のきめ細かさを設定します。この設定と「クオリティ」の設定で撮影できる枚数が決まります。

■撮影モード：iA P A S M MS1 MS2 SCN
■設定

記録画素数の種類(画像横縦比：4:3)					
14 M	10 M EZ※1	7 M EZ※1	5 M EZ	3 M EZ※1	0.3 M EZ
4320×3240	3648×2736	3072×2304	2560×1920	2048×1536	640×480

記録画素数の種類(画像横縦比：3:2)					
12.5 M	9 M EZ※1	6 M EZ※1	4.5 M EZ※1	2.5 M EZ※1	0.3 M EZ※1
4320×2880	3648×2432	3072×2048	2560×1712	2048×1360	640×424

記録画素数の種類(画像横縦比：16:9)					
10.5 M	7.5 M EZ※1	5.5 M EZ※1	3.5 M EZ※1	2 M EZ※1	0.2 M EZ※1
4320×2432	3648×2056	3072×1728	2560×1440	1920×1080	640×360

記録画素数の種類(画像横縦比：1:1)					
10.5 M	7.5 M EZ※1	5.5 M EZ※1	3.5 M EZ※1	2.5 M EZ※1	0.2 M EZ※1
3232×3232	2736×2736	2304×2304	1920×1920	1536×1536	480×480

※1 iA(スナップショットモード)時は設定できません。

●被写体や撮影状況によっては、画像がモザイク状になることがあります。

設定の目安

画素数が大きい	←→	画素数が小さい※2
きめ細かい		粗い
撮影枚数が少ない		撮影枚数が多い

※2 例えば、「0.3 M EZ」は、データ容量が小さいので、Eメールでの送付などに便利です。

撮影メニューの設定方法は、38ページへ

「[クオリティ] クオリティ」画質を設定する

■撮影モード：[P] [A] [S] [M] [MS1] [MS2] [SCN] [3D]

■設定：[高画質アイコン]：高画質、画質優先
[標準画質アイコン]：標準画質、枚数優先

●シーンモードの「変身」「高感度」「フラッシュ連写」では、[標準画質アイコン] に固定されます。

●スライド3D撮影モード時は、表示されるアイコンが異なります。
[3D高画質アイコン]：MPO画像と高画質のJPEG画像を同時に記録します。
[3D標準画質アイコン]：MPO画像と標準画質のJPEG画像を同時に記録します。

「[ISO] ISO感度」光に対する感度を設定する

ISO感度（光に対する感度）を自分で設定します。
暗い場所で明るく撮りたいときは、高く設定することをおすすめします。

■撮影モード：[P] [A] [S] [M]

■設定：AUTO／[iISO]（インテリジェントISO）／100／200／400／800／1600

設定の目安

ISO感度	100 ←→	1600
適した撮影場所	明るい（屋外）	暗い
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	減る	増える
被写体ブレ	多い	少ない

●「AUTO」は、被写体の明るさに応じて、最大400まで（フラッシュ使用時は最大1000まで）の範囲で自動設定します。

●「[iISO]（インテリジェントISO）」は、被写体の動きと明るさに応じて、最大1600までの範囲で自動設定します。

「[WB] ホワイトバランス」色合いを設定する

色合いが不自然なときに光源に合わせて自然な色に調整します。

■撮影モード：[P] [A] [S] [M] [MS1] [MS2] [SCN] [3D]

■設定：AWB（自動調整、通常推奨）／[晴天]（晴天の屋外）／[曇り]（曇りの屋外）／
[日陰]（屋外晴天下の日陰）／[白熱灯]（白熱灯）／[手動]（[手動]SET で設定した値を使用）／
[手動]SET（手動設定）

●AWB（オートホワイトバランス）に設定すると、光源に合わせて色合いを調整します。ただし、明暗の極端な状況では、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合は、正常に働かない場合があります。

●蛍光灯のときは「AWB」または「[手動]SET」に設定することをおすすめします。

●以下のシーンモードでは、「AWB」に固定されます。
「風景」「夜景&人物」「夜景」「手持ち夜景」「料理」「パーティー」「キャンドル」「夕焼け」「フラッシュ連写」「星空」「花火」「ビーチ」「雪」「空撮」「サンドブラスト」

■「[晴天]」「[曇り]」「[日陰]」「[白熱灯]」「[手動]」を微調整するとき

ホワイトバランスを設定しても思い通りの色合いにならないとき、ホワイトバランスを個々に微調整することができます。（ホワイトバランス微調整）

①微調整するホワイトバランスを選び、[DISP.]を押して「WB微調整」画面を表示する

②赤みが強いときは▶で、青みが強いときは◀で調整する。

③[MENU/SET]を押す。

- 電源を切っても記憶されます。
- フラッシュ撮影にも反映されます。
- 「カラーモード」（P.95）が「白黒」「セピア」「クール」「ウォーム」のときはできません。

撮影メニューの設定方法は、38ページへ

■手動で設定するとき（SET）

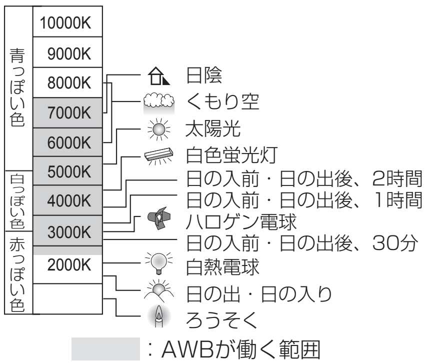
撮りたい光源の下で白いものを写して色を合わせます。

①SET を選び、［MENU/SET］を押す。

②紙など白いものを写し、［MENU/SET］を押す。
ホワイトバランスが に設定されます。

- 電源をOFFにしても、設定したホワイトバランスは記憶されます。
- 被写体が明るすぎたり、暗すぎると、正しくホワイトバランスが設定できない場合があります。そのときは、適切な明るさに調整して、設定し直してください。

■AWBが働く範囲について



「オートフォーカスモード」ピントを合わせる方法を変える

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせかたを変えられます。

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN 3D

■設定：（顔認識）／（追尾AF）／（23点）／（1点）／（スポット）

人物を正面から撮るとき （顔認識）	顔を認識して（最大15人）顔に露出やピントが合います。 AFエリア 黄色：シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わる。 白色：複数の顔を認識すると表示。黄色のAFエリア枠内と同じ距離にある顔にはピントが合います。
動いている被写体を自動でフォーカスロックするとき （追尾AF）	被写体をタッチする • タッチシャッター機能（P.24）を解除した状態で行ってください。 追尾AF枠 被写体を認識すると、追尾AF枠が白色から黄色に変わり、自動的にピントを合わせ続ける。 AFロックに失敗したときは、赤く点灯する。 • 追尾AFを解除するとき→ をタッチする • ピントが合う範囲（マクロ撮影と同じ）（P.55）
被写体が中央にないとき （ピントがすべて合ってから、AFエリアを表示します） （23点）	AFエリアごとに最大23点までピントを合わせます。
ピントを合わせる位置が決まっているとき （1点） （スポット）	1点：画面中央のAFエリアにピントが合います。（ピントが合いにくいときにおすすめ） スポット：限られた狭い範囲内にピントが合います。

●次のときは、[■](1点)に固定されます。
シーンモードの「星空」「花火」「ハイスピード動画」
●[•](スポット)でピントが合いにくいときは、[■](1点)にしてください。
●次のときは(顔認識)に設定できません。
シーンモードの「パノラマアシスト」「夜景」「手持ち夜景」「料理」「空撮」
●(顔認識)設定時に、カメラが誤って人物以外を顔と認識したときは、(顔認識)以外の設定に変えてください。
●被写体の動きが速いときなど、状況によって顔を認識できない場合は、(23点)に切り換わります。
●被写体が小さいときや暗いときなど、撮影状況によっては、追尾AFが正しく動作しない場合があります。
●追尾AFが働かないときは、(23点)となります。
●次のときは(追尾AF)に設定できません。
• シーンモードの「パノラマアシスト」「星空」「花火」「ピンホール」「サンドブラスト」「ハイダイナミック」「ハイスピード動画」
• カラーモードの「白黒」「セピア」「クール」「ウォーム」
●動画撮影中は、(顔認識)以外に設定している場合、[■](1点)となります。

「Q.AF クイックAF」動きに合わせてピントを合わせる

シャッターボタンを押していない間も、カメラのブレが小さくなると自動的にピントを合わせます。（バッテリーの消費は早くなります）

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN 3D

■設定：ON／OFF

●ズームレバーをW端から一気にT端に回したり、急に被写体に近づくと、ピントが合うのに時間がかかることがあります。
●ピントが合いにくいときは、シャッターボタンを半押ししてください。
●次のときは「OFF」になります。
シーンモードの「夜景＆人物」「夜景」「手持ち夜景」「星空」「花火」「ハイスピード動画」
●追尾AF動作中は働きません。

「個人認証」よく撮る人を登録する

詳しくは、74ページをお読みください。

「測光モード」明るさを測る位置を変える

露出を補正するときにどの位置の明るさを測るかを変えられます。

■撮影モード：P A S M

■設定

	明るさの測定位置	こんなとき
マルチ測光	画面全体	通常使用 （バランスがとれた写真になります）
中央重点	画面中央とその周囲	被写体が画面中央にあるとき
スポット	中央の狭い範囲	被写体と背景の明るさが極端に異なるとき（舞台上のスポットライトが当たった人物を撮るとき、逆光時など）

「i.暗部補正」コントラストを自動調整する

背景と被写体の明暗差が大きい場合に、コントラストや露出を自動調整して見た目に近い色にします。

■撮影モード：P A S M

■設定：弱／中／強／OFF

●「弱」、「中」、「強」は効果の最大範囲を表します。
●暗部補正が働くと、の色が変わります。
●「ISO感度」を「100」に設定していても、暗部補正が働いたときは、ISO感度の設定より高い感度で撮影されることがあります。

撮影メニューの設定方法は、38ページへ

「MIN 下限シャッター速度」暗い場所で明るく

自動調整されるシャッター速度の下限を設定します。暗い場所で明るく撮りたいときは、遅めに設定することをおすすめします。

■撮影モード：P

■設定：AUTO、1/250、1/125、1/60、1/30、1/15、1/8、1/4、1/2、1

●シャッタースピードが遅いほど暗い場所でも明るく撮れますが、手ブレしやすくなるため三脚とセルフタイマーの使用をおすすめします。
●「1/250」など速い値に設定時は、写真が暗く写りやすいため、明るい場所で撮影することをおすすめします。（写真が暗くなる場合はシャッターボタン半押し時に MIN が赤く点滅します）
●「AUTO」以外を選択すると、画面に MIN を表示します。

「I.R 超解像」くっきりした画質にする

超解像技術を使って、より輪郭のはっきりした、解像感がある写真を撮影できます。また、「iA ZOOM」を設定すると、ほとんど画質を劣化させずにズーム倍率を約1.3倍上げることができます。

■撮影モード：P A S M

■設定：ON／iA ZOOM／OFF

●iAズームについては、51ページをお読みください。
●スナップショットモード時（ブレピタモード「ON」時を除く）は「iA ZOOM」に固定されます。
●シーンモードの「手持ち夜景」「高感度」は「ON」、「フラッシュ連写」「ピンホール」では「OFF」、それ以外のシーンモードで「iA ZOOM」に固定されます。

「デジタルズーム」さらに拡大する

光学ズーム、またはEX光学ズームの最大4倍に拡大します。

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN

■設定：ON／OFF

●ズームマクロ設定時は「ON」に固定されます。

「連写」連写で撮る

詳しくは、72ページをお読みください。

「カラーモード」色の効果をつける

■撮影モード：iA P A S M

■設定：　標準／ナチュラル（柔らかく）／ヴィヴィッド（くっきり）／白黒／セピア／クール（青っぽく）／ウォーム（赤っぽく）／Happy（スナップショットモードのみ）

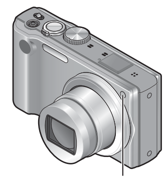
●暗い場所でノイズが目立つときは「ナチュラル」に設定してください。
●スナップショットモードでは「標準」「Happy」「白黒」「セピア」のみ設定できます。（他のモードとは別に設定されます）

「AF✳ AF補助光」暗いところでピントを合わせやすくする

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN 3D

■設定：　ON：　シャッターボタン半押しでランプが点灯（AF✳と、大きなAFエリアが表示される）
　　　　OFF：ランプ消灯（暗やみで動物などを撮るときなど）

●次のときは「OFF」に固定されます。
シーンモードの「自分撮り」「風景」「夜景」「手持ち夜景」「夕焼け」「花火」「空撮」「ハイスピード動画」



AF補助光ランプ（有効距離：1.5 m）
（近くで見たり、指でふさがない）

撮影メニューの設定方法は、38ページへ

「デジタル赤目補正」フラッシュの赤目現象を補正する

フラッシュの赤目軽減（ ）で撮影したときに、赤目を自動的に検出して、写真を補正します。

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN

■設定：ON／OFF

●オートフォーカスモードが （顔認識）以外のときは、働きません。
●赤目の状態によっては、補正できない場合があります。
●「ON」に設定すると、フラッシュのアイコンに が付きます。

「手ブレ補正」手ブレをおさえる

手ブレを自動で感知して補正します。

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN

■設定：ON／OFF

●シーンモード「自分撮り」「手持ち夜景」、および動画撮影中では「ON」に固定されます。
●シーンモード「星空」「ハイスピード動画」、およびスライド3D撮影モードでは「OFF」に固定されます。
●次のときは補正が効きにくい場合があります。
手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき（デジタルズーム領域を含む）、被写体の動きが速いとき、室内や薄暗い場所で撮る（シャッタースピードが遅い）とき

「日付焼き込み」撮影日時を写真に焼き込む

撮影時に日付や日時を写真へ焼き込んで撮影できます。

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN

■設定：日付／日時／OFF

●写真に焼き込まれた撮影日時は消せません。
●「オートブラケット」「連写」設定時、スライド3D撮影モード、動画、およびシーンモードの「パノラマアシスト」「フラッシュ連写」「ハイスピード動画」時は焼き込めません。
●日付焼き込みした写真は、お店やプリンターで日付プリント指定しないでください。（重なってプリントされることがあります）

「時計設定」時計を合わせる

時計を設定します。セットアップメニューの「時計設定」と同じ機能です。

動画メニューを使う

動画メニューの設定方法は、38ページへ

「撮影モード」動画を記録するデータ形式を設定する

動画のデータ形式を設定します。

■撮影モード：Ⓐ P A S M MS1 MS2 SCN

■設定

記録形式	効果
AVCHD	• ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。 • AVCHD対応機器にカードを入れて、そのまま再生できます。詳しくは、お使いの機器の説明書で対応を確認してください。
MOTION JPEG	• パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。

●本機で撮影した動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。この場合は、本機で再生してください。

「画質設定」動画の画質を変更する

記録する動画の画質を設定します。

■撮影モード：Ⓐ P A S M MS1 MS2 SCN

■設定

撮影モードが「AVCHD」のとき

設定	画像サイズ	ビットレート※(平均)	横縦比
GFS	1920×1080	約17 Mbps	16:9
FSH			
GS	1280×720		
SH			

撮影モードが「MOTION JPEG」のとき

設定	画像サイズ	1秒あたりのコマ数	横縦比
HD	1280×720	30 fps	16:9
VGA	640×480		4:3
QVGA	320×240		

※ビットレートとは、一定時間あたりのデータの量で、この場合は数値が大きいほど高画質となります。

●「GFS」および「FSH」について
- コマ数は60i（センサー出力は60コマ/秒）となります。
（カメラモデル 18 163 / 18 164の場合）
- コマ数は50i（センサー出力は50コマ/秒）となります。
（カメラモデル 18 162の場合）

●「GS」および「SH」について
- コマ数は60p（センサー出力は60コマ/秒）となります。
（カメラモデル 18 163 / 18 164の場合）
- コマ数は50p（センサー出力は50コマ/秒）となります。
（カメラモデル 18 162の場合）

●「FSH」および「SH」で撮影した動画には、測位した位置情報は記録されません。

●内蔵メモリーに記録できるのは「QVGA」のみです。

動画メニューを使う（つづき）

「[アクティブモード] アクティブモード」歩き撮りでもブレにくくする

歩きながら動画を撮影する時など、大きな揺れに対してブレにくくします。
- W端時に、より強い補正効果が得られます。

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN

■設定：ON／OFF

●「撮影モード」を「MOTION JPEG」に設定しているときは、「OFF」に固定されます。

「C-AF AF連続動作」ピントを固定する

動画撮影中もピントを合わせ続けるか、あるいは動画撮影開始時のピント位置で固定するかを設定できます。

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN

■設定：ON／OFF（動画撮影開始時のピント位置で固定します。）

●次のときは「OFF」に固定されます。
シーンモードの「星空」「花火」

「[風音低減] 風音低減」風の音を録音しにくくする

風が強いときに録音される風の音（風音ノイズ）を記録しにくくします。

■撮影モード：P A S M MS1 MS2 SCN

■設定：ON／OFF

●「風音低減」を「ON」に設定しているときは、低音がカットされるため、通常と音質が異なります。

動画撮影中に写真を撮影する

撮影モード：iA P A S M MS1 MS2 SCN

動画撮影中でも、同時に写真を撮影できます。

1 動画撮影中にシャッターボタンを全押しする

画像横縦比が 16:9、記録画素数が3.5 Mの写真が撮影されます。（最大40枚まで）
動画撮影は、そのまま継続します。
- シャッターボタンの操作音が記録される場合があります。
  操作音が気になる場合はタッチシャッターの使用をおすすめします。
- ズーム中に写真を撮影する場合、ズームが止まる場合があります。

■連写撮影について

あらかじめ、連写が設定されていると、動画撮影中に連写撮影できます。
- 連写を [40] または [60] に設定しているときは、自動的に [10] で撮影されます。
- [2 AF] や [5 AF] に設定していても、ピントは1枚目に固定されます。

●タッチシャッター機能を設定している場合は、動画撮影中に意図せずにタッチパネルに触れた場合でも写真を撮影します。
●動画撮影中にシャッターボタンの半押しまたはタッチシャッターでの写真撮影を行うと、ピントを合わせ直すため、撮影中の動画にもピント合わせの動きが記録されます。動画の映像を優先する場合は、シャッターボタンを全押しして写真を撮影してください。動画撮影後に写真を作成することもできます。（次ページ）
●シャッターボタンを半押しすると、記録画素数と記録可能枚数が表示されます。
●次の場合は、写真を記録できません。
- 画質設定が「VGA」「QVGA」の場合
- ハイスピード動画の場合

●フラッシュは [発光禁止]（発光禁止）になります。
●電子シャッターでの撮影になるため、撮影された画像にゆがみが生じる場合があります。

動画を編集する

再生モード：▶

動画から写真を切り出す

動画のワンシーンを写真にして保存します。

1 動画再生中に一時停止して、写真にしたい画像を表示する

2 [MENU/SET]を押す

元の動画の画質設定	記録画素数	画像横縦比
「GFS」「FSH」「GS」「SH」「HD」	2M	16:9
「VGA」「QVGA」	0.3M	4:3

●元の動画の画質設定により、画質が少し粗くなります。
●他機で撮影された動画は写真で保存することができない場合があります。

動画を分割する

1つの動画を2つに分割できます。必要なシーンのみ残したいときや、旅先などでカードの空き容量を増やすために不要なシーンを消去したいときに便利です。

1 再生メニューから「動画分割」を選ぶ(P.38)

2 カーソルボタンで分割する動画を選び、[MENU/SET]を押す

3 動画を再生し、分割する場所で一時停止する

4 ▼で分割する位置を決定する
- 確認画面が表示されます。「はい」を選ぶと実行されます。
- **分割した元の動画は残りません。**（分割後の2つの動画のみになります。）

●分割中は、電源を切ったり、カードやバッテリーを抜かないでください。動画が消失する恐れがあります。
●MOTION JPEG動画の場合、分割すると画像の順番が変わります。「カレンダー検索」（カレンダー再生）や「絞り込み再生」で表示することをおすすめします。
●AVCHD動画の場合、分割しても画像の順番は変わりません。
●他機で撮影された動画は動画分割できない場合があります。

連写した写真の再生について

再生モード：▶

[40]、[60] で撮影した画像は、まとめて記録されます。（連写グループ）

■代表画像表示

他の写真や動画と一緒に表示しているときは、代表画像（連写の1 枚目）が表示されています。
- 連写グループ内の写真に対し、まとめて消去や編集ができます。
- 動画と同様の操作で連続再生できます。

■連写グループ内表示

1回の連写で撮影した写真を個別に表示したり、一覧表示できます。

1 代表画面表示中に▼を押す

連写グループ内表示に切り換わります。
連写グループ内表示では、一連の連写写真以外は表示されません。
- 代表画面表示に戻すとき→▼を押す

■連写グループ情報の再取得について

電源を入れたときに [アイコン]（情報取得中アイコン）が表示される場合があります。
[アイコン] が表示されている間は、画像を消去したり、再生メニューが使えません。また、再生モードは「通常再生」か「カレンダー検索」のみとなります。

●連写グループ内表示中は、再生メニューが使えません。
●「スライドショー」および「絞り込み再生」で、「GPS地名別」や「お気に入り」再生時は、連写グループをまとめて表示できません。
●「トリミング（切抜き）」は、まとめて編集できません。
●写真の合計が、50000枚を超えると、それ以降に連写した写真はグループ化されません。
また、消去などで連写グループに1枚しか残らない場合もグループ化されません。
●他機で撮影した連写画像は、連写グループ画像として認識されない場合があります。
●時計設定を行わずに撮影した場合、連写画像はグループ化されません。

いろいろな再生方法「再生モード」

再生モード：▶

撮影した画像をいろいろな方法で再生することができます。

1 [MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで「再生モード」を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで再生方法を選び、[MENU/SET]を押す

●カードが入っていないときは、内蔵メモリーの画像を再生します。
●撮影/再生切換スイッチを ▶ にして電源を入れたときや、撮影モードから再生モードに切り換えたときは、再生モードは自動的に「通常再生」になります。

「スライドショー」自動で順番に見る

音楽に合わせて写真や動画を順に自動再生します。テレビで見るときにおすすめです。

1 カーソルボタンで再生方法を選び、[MENU/SET]を押す

全画像	すべての画像を再生。
写真のみ	写真のみ再生。
動画のみ	動画のみ再生。
3D	スライド3D撮影モードで撮影した3D写真のみ再生。
GPS地名別	地名またはランドマークを選択して、同じ場所で撮影した画像を再生。(カーソルボタンで地名またはランドマークを選び、[MENU/SET]を押してください)
トラベル	「トラベル日付設定」または「旅行先」を設定して撮影した画像のみ再生。
カテゴリー選択	カテゴリーを選択して、写真のみ再生。(カーソルボタンでカテゴリーを選び、[MENU/SET]を押してください) (P.106)
お気に入り	「お気に入り」に設定した画像のみ再生。

2 カーソルボタンで再生効果を設定し、[MENU/SET]を押す

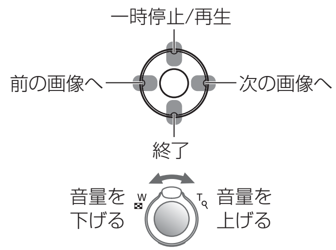
効果(画像の雰囲気にあった音楽と効果を選ぶ)	
おまかせ(「カテゴリー選択」設定時のみ)／ナチュラル／スロー／スウィング／アーバン／OFF※	
設定	
再生間隔※	1秒／2秒／3秒／5秒(効果「OFF」設定時のみ設定可能)
リピート	ON／OFF
音設定	OFF：音楽も音声も再生しません。 AUTO：写真のときは音楽を、動画のときは音声を再生します。 音楽：効果の音楽を再生します。 音声：動画の音声を再生します。

※ **1** で「動画のみ」を選択したときは、効果は「OFF」に固定されます。また、再生間隔は設定できません。

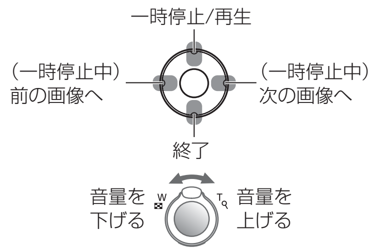
3 カーソルボタンで「開始」を選び、[MENU/SET]を押す

■スライドショー中の操作

動画/連写グループ再生中



写真再生中



●「アーバン」は、画面効果として画像が白黒になることがあります。
●HDMIミニケーブル(別売)でテレビに表示するときや、縦向きに撮影した画像を表示するときは、一部の「効果」が動作しません。
●音楽効果を追加することはできません。

いろいろな再生方法「再生モード」（つづき）

再生モード：▶

「 絞り込み再生」再生する画像を絞り込む

選択したカテゴリーの画像やお気に入りの画像を絞り込んで見ることができます。

1 カーソルボタンで絞り込む方法を選び、［MENU/SET］を押す

写真のみ	写真のみ再生します。
動画のみ	動画のみ再生します。
3D	スライド3D撮影モードで撮影した3D写真のみ再生します。
GPS地名別	撮影した場所の地名やランドマークを選んで再生します。 ① カーソルボタンで再生する地域を選び、［MENU/SET］を押す ② カーソルボタンで地名やランドマークを選び、［MENU/SET］を押す
トラベル	「トラベル日付」を設定中に撮影した画像を再生します。 ① カーソルボタンで日付で再生するか、旅行先で再生するかを選び、［MENU/SET］を押す • 「全画像」を選ぶと、「トラベル日付」設定中に撮影した画像を再生します。 ② カーソルボタンで日付や旅行先を選び、［MENU/SET］を押す
カテゴリー選択	シーンモードなどのカテゴリー別に画像を絞り込んで再生します。 ① カーソルボタンでカテゴリーを選び、［MENU/SET］を押す

	個人認証で撮影した画像
	人物、i人物、美肌、変身、自分撮り、夜景&人物、i夜景&人物、赤ちゃん、i赤ちゃん
	風景、i風景、夕焼け、i夕焼け、空撮
	夜景&人物、i夜景&人物、夜景、i夜景、手持ち夜景、i手持ち夜景、星空
	スポーツ、パーティー、キャンドル、花火、ビーチ、雪、空撮
	赤ちゃん、i赤ちゃん
	ペット
	料理
	連写（、のみ）

お気に入り	「お気に入り」に設定した画像を再生します。

「 カレンダー検索」撮影日別に見る

カレンダー画面で撮影日を選んで、その日に撮った画像だけを見ることができます。（P.35）

再生メニューを使う

再生モード：[▶]

再生メニューの表示・操作方法については、38ページへ

撮影した画像を切り抜くなどの編集やプロテクト設定などができます。
- 再生メニューの表示・操作方法については、38ページへ
- 再生モードにより、表示されない再生メニューがあります。
- 「文字焼き込み」や「リサイズ（縮小）」などは、編集した画像を新しく作成します。内蔵メモリーまたはカードの空き容量を確認してから編集してください。

「[タイトル入力アイコン] タイトル入力」画像に文字を入れる

お好みの写真にタイトルなどをつけることができます。

1 カーソルボタンで「1枚設定」または「複数設定」を選び、[MENU/SET]を押す

2 写真を選ぶ

●1枚のとき
カーソルボタンで写真を選び、[MENU/SET]を押す



●複数に同じタイトルをつけるとき（100枚まで）
カーソルボタンで写真を選び、[DISP.]ボタンを押す



[アイコン] タイトル入力設定
[アイコン] タイトル入力済み
- 解除するとき→再度[DISP.]ボタンを押す
- 実行するとき→[MENU/SET]を押す

3 文字を入力する（文字入力方法：P.86）
- タイトルを消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。

●他機で撮影された写真、動画には設定できません。

「[GPSアイコン] GPS地名編集」記録された地名情報を編集する

画像に記録された地名やランドマーク名を編集できます。

1 カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで「候補から選択」を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで編集する項目を選び、[MENU/SET]を押す
画像に記録された位置情報に近い地名やランドマーク名が検索されます。

4 地名またはランドマーク名を選び、[MENU/SET]を押す

■地名やランドマーク名を直接編集する
①上記の手順 **2** で「直接入力」を選び、[MENU/SET]を押す
②カーソルボタンで編集する項目を選び、[MENU/SET]を押す
③文字を入力する（文字入力方法：P.86）

■編集した地名やランドマーク名をほかの画像にも適用する
①上記の手順 **2** で「直前データのコピー」を選び、[MENU/SET]を押す
直前に選択、または入力した地名およびランドマーク名が表示されます。
②地名やランドマーク名を確認し、[MENU/SET]を押す

●2010年以前に発売されたGPS記録対応のライカ製デジタルカメラで撮影した画像は編集できません。

再生メニューの表示・操作方法については、38ページへ

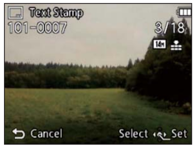
「文字焼き込み」文字や日付などを焼き込む

撮影日時、地名情報、シーンモードの「赤ちゃん」「ペット」、「トラベル日付」、「タイトル入力」で登録した文字を写真に焼き込みます。Lサイズのプリントに適しています。

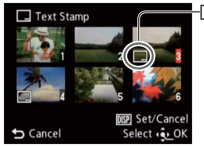
1 カーソルボタンで「1枚設定」か「複数設定」を選び、［MENU/SET］を押す

2 写真を選ぶ

●1枚のとき
カーソルボタンで写真を選び、［MENU/SET］を押す



●複数のとき（100枚まで）
カーソルボタンで写真を選び、［DISP.］ボタンを押す



文字焼き込み設定
• 解除するとき→
再度［DISP.］ボタンを押す
• 実行するとき→
［MENU/SET］を押す

3 カーソルボタンで「設定」を選び、［MENU/SET］を押す

4 カーソルボタンで項目を選び、［MENU/SET］を押す

5 カーソルボタンで設定を選び、［MENU/SET］を押す

6 🗑 / ↩ ボタンを押す

7 カーソルボタンで「実行」を選び、［MENU/SET］を押す

8 カーソルボタンで月齢/年齢を焼き込むかどうかを選び、［MENU/SET］を押す

• 手順 5 で「名前」が「OFF」の場合、この手順は表示されません。

■焼き込める項目

撮影日時	「日付」：撮影日を焼き込む 「日時」：撮影日時を焼き込む
名前	個人認証：個人認証に登録された名前を焼き込む 赤ちゃん/ペット：「赤ちゃん」「ペット」で登録された名前を焼き込む
旅行先	セットアップメニューの「トラベル日付」で登録された旅行先を焼き込む
トラベル日付	セットアップメニューの「トラベル日付」で設定された旅行日を焼き込む
タイトル	「タイトル入力」で登録した文字を焼き込む
国／地域	GPS機能で記録した地名情報を焼き込む • 地名やランドマーク名などが長い場合、すべてが焼き込まれない場合があります。
県／州	
市区／郡	
町／村	
ランドマーク	

• 「OFF」の項目は焼き込みません。

●他機で撮影したもの、時計を設定せずに撮影したもの、動画、すでに文字を焼き込んだ写真には設定できません。
●プリンターによっては文字が切れることがあります。
●0.3M以下の画像に文字焼き込みする場合、文字は読みづらくなります。
●文字焼き込み済みの写真は、お店やプリンターで日付プリント指定しないでください。（重なってプリントされることがあります）

「動画分割」動画を分割する

詳しくは、102ページをお読みください。

再生メニューの表示・操作方法については、38ページへ

「リサイズ（縮小）」画像サイズ（画素数）を小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、写真の容量（記録画素数）を小さくします。（一番小さい記録画素数で撮影した写真は、それ以上小さくできません）

■1枚設定

1 カーソルボタンで「1枚設定」を選び、[MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで写真を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンでサイズを選び、[MENU/SET]を押す



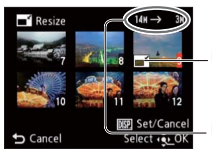
• 確認画面が表示されます。「はい」を選ぶと実行されます。

■複数設定

1 上記の手順 1 で「複数設定」を選び、[MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンでサイズを選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで写真を選び、[DISP.]ボタンを押す（100枚まで）



• 解除するとき→再度[DISP.]ボタンを押す
• 実行するとき→[MENU/SET]を押す

• 確認画面が表示されます。「はい」を選ぶと実行されます。

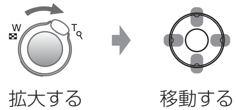
●リサイズすると画質が粗くなります。
●動画、日付／文字焼き込み済みの写真はできません。また、他機で撮影した写真はできない場合があります。

「トリミング（切抜き）」画像を切り抜く

写真を拡大して、必要な部分を切り抜きます。

1 カーソルボタンで写真を選び、[MENU/SET]を押す

2 写真を切り抜く部分を表示して、[MENU/SET]を押す



• 確認画面が表示されます。「はい」を選ぶと実行されます。

●トリミングすると画質が粗くなります。
●動画、日付／文字焼き込み済みの写真はできません。また、他機で撮影した写真には、できない場合があります。
●トリミングした写真には、元の写真の個人認証に関する情報はコピーされません。

再生メニューを使う（つづき）

再生モード：▶

再生メニューの表示・操作方法については、38ページへ

「★ お気に入り」お気に入り画像を設定する

気に入った画像に★印をつけておくと、お気に入り画像だけを再生したり、お気に入り画像以外を全消去したりすることができます。

1 カーソルボタンで「1枚設定」または「複数設定」を選び、[MENU/SET]を押す

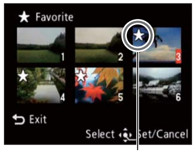
2 カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す

●1枚のとき



お気に入り設定

●複数のとき



お気に入り設定

- 解除するとき→再度[MENU/SET]を押す

■全解除するとき ➡ 手順 **1** で「全解除」を選ぶ→「はい」を選び、決定する

●他機で撮影した画像には設定できない場合があります。

「🖨 プリント設定」プリント設定する

DPOFプリント対応のお店やプリンターでプリントするときに、画像・枚数・日付プリントの有無を指定できます。（対応しているかどうかはお店に確認してください）

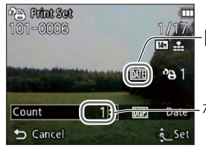
1 カーソルボタンで「1枚設定」または「複数設定」を選び、[MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで枚数を設定し、[MENU/SET]を押す

（「複数設定」時は **2** と **3** をくり返す（999枚まで））

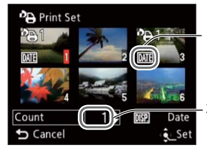
●1枚のとき



日付プリント表示

枚数

●複数のとき



日付プリント表示

枚数

- 日付プリントを設定／解除するとき→[DISP.]ボタンを押す

■全解除するとき ➡ 手順 **1** で、「全解除」を選ぶ→「はい」を選び、決定する

●プリンターによっては、プリンター側の設定が優先される場合があります。
●DCF規格に準拠していないファイルには設定できません。
●他機で設定されたDPOF情報（プリント設定）は利用することができない場合があります。その場合、DPOF情報をすべて解除してから本機で再度設定してください。
●「日付焼き込み」を設定して撮影した写真や「文字焼き込み」済みの画像には、日付プリントを設定できません。
●動画には設定できません。

「On プロテクト」画像を保護する

誤消去を防止します。設定すると、消去できなくなります。

1 カーソルボタンで「1枚設定」または「複数設定」を選び、[MENU/SET]を押す

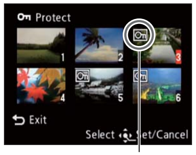
2 画像を選ぶ

●1枚のとき
カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す

●複数のとき
カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す



プロテクト設定



プロテクト設定

• 解除するとき→再度[MENU/SET]を押す

■全解除するとき ➡ 手順 1 で「全解除」を選ぶ→「はい」を選び、決定する
■全解除中に中止するとき ➡ [MENU/SET]を押す

●本機以外では無効になることがあります。

「認証情報編集」個人認証情報を編集する

間違って個人認証された画像の認証情報を修正したり、解除します。

1 カーソルボタンで「入換え」または「解除」を選び、[MENU/SET]を押す

2 カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで人物を選び、[MENU/SET]を押す

• 「解除」の場合は手順 5 へ
• 個人認証情報が登録されていない人物は選択できません。

4 カーソルボタンで入れ換えたい人物を選び、[MENU/SET]を押す

5 カーソルボタンで「はい」を選び、[MENU/SET]を押す

●解除した個人認証に関する情報は元に戻せません。
●個人認証情報をすべて解除した画像は、「カテゴリー選択」の個人認証に分類されません。
●プロテクトされた画像は認証情報編集できません。

「IN→SD 画像コピー」内蔵メモリーの画像をコピーする

内蔵メモリーとカード間のコピーができます。

1 カーソルボタンでコピーのしかた（方向）を選び、[MENU/SET]を押す

IN→SD：内蔵メモリーからカードへ、全画像をコピー。（手順 3 へ）
SD→IN：カードから内蔵メモリーへ、1枚コピー。

2 カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンで「はい」を選び、[MENU/SET]を押す

• 中止するとき→[MENU/SET]を押す
• 内蔵メモリーからカードへ全画像をコピーした場合は、自動的に再生画面に戻ります。

●コピーには時間がかかることがあります。コピー中は、電源を切ったり他の操作をしないでください。
●コピー先に同じ名前（フォルダー番号/ファイル番号）がある場合、「IN→SD」（内蔵メモリーからカード）時は新しいフォルダーを作成してコピーします。「SD→IN」（カードから内蔵メモリー）時はその画像はコピーされません。
●次の設定はコピーされません。コピー後に設定し直してください。
• プリント設定　• プロテクト設定　• お気に入り設定
●ライカ製デジタルカメラ（Digilux、Digilux Zoom、Digilux 4.3を除く）の画像のみコピーできます。
●AVCHD動画はコピーできません。

テレビで見る

本機とテレビをAVケーブル(付属)またはHDMIミニケーブル(別売)で接続すると、写真や動画をテレビで見ることができます。
●テレビの説明書もお読みください。

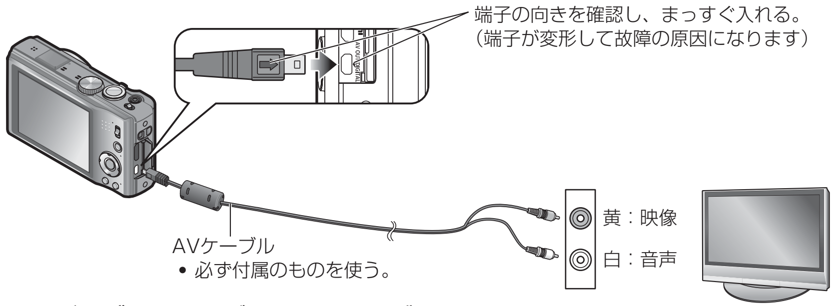
準備： •「TV画面タイプ」(P.47)を設定する。
• 本機とテレビの電源を切る。

1 本機とテレビを接続する

2 テレビの電源を入れ、「外部入力」にする

3 本機の電源を入れる

4 撮影/再生切換スイッチを ▶(再生)にする



■テレビやブルーレイディスクレコーダー／
DVDレコーダーにSDカードスロットがあるとき

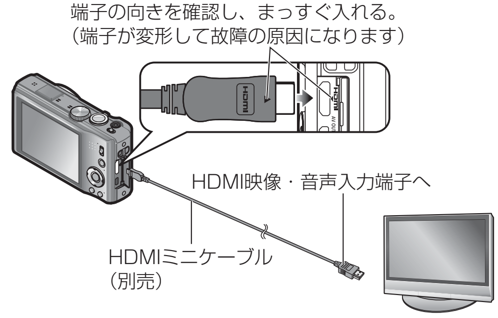
➡ SDカードスロットにSDメモリーカードを入れてください
• 写真を再生できます。
• AVCHD動画は、AVCHDのロゴマークがついているテレビで再生することができます。その他の場合、動画を再生するときは、AVケーブル(付属)を使用し、本機をテレビに接続してください。
• SDHCメモリーカードおよびSDXCメモリーカードをお使いの場合は、それぞれ対応の機器で再生してください。

●必ず付属のAVケーブルをお使いください。
●テレビ方式がNTSCまたはPALの国や地域であれば、セットアップメニューの「ビデオ出力方式」を設定して表示できます。(カメラモデル 18 162の場合)
●縦に回転した画像は、多少ぼやけることがあります。
●ワイドテレビやハイビジョンテレビで横縦比が正しく表示されないときは、テレビ側で画面モードの設定を変えてください。

HDMI端子付きテレビで見る

HDMIミニケーブル(別売)を使って、写真や動画を高画質で楽しむことができます。

準備：本機とテレビの電源を切る。



1 本機とテレビを接続する

2 テレビの電源を入れ、「HDMI入力」にする

3 本機の電源を入れる

4 撮影/再生切換スイッチを ▶(再生)にする

●必ずライカ純正のHDMIケーブルをお使いください。(別売品のご紹介→P.8)
●再生機能の一部は制限されます。
●再生メニュー、GPSメニュー、セットアップメニューは使用できません。
●画像横縦比によっては、上下や左右に帯が付いて表示されることがあります。
●HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
●HDMIミニケーブル接続時は、液晶モニターに画像が表示されません。
●USB接続ケーブルと同時に接続すると、HDMI端子は働きません。
●AVケーブルと同時に接続すると、AVケーブルの映像は出力されません。
●テレビによっては、再生開始直後や一時停止直後に一瞬、画像が乱れることがあります。
●音声出力はステレオ(2ch)です。

HDTV Link（HDMI）を使う

HDTV Link（HDMI）とは
- ●本機とHDMIミニケーブル（別売）を使って接続したHDTV Link対応機器を自動的に連動させて、テレビのリモコンで簡単に操作できる機能です。（すべての操作ができるものではありません）
- ●HDTV Link（HDMI）はHDMI CEC（Consumer Electronics Control）と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。HDTV Link（HDMI）に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- ●本機は、HDTV Link Ver.5に対応しています。HDTV Link Ver.5とは、従来のHDTV Link機器にも対応した最新の当社基準です。

- ●必ずライカ純正のHDMIケーブルをお使いください。（別売品のご紹介→P.8）
- ●お使いのテレビがHDTV Link（HDMI）対応かわからないときは、接続したテレビにHDTV Link（HDMI）のロゴマークが付いているかご確認いただくか、テレビの取扱説明書をお読みください。
- ●HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- ●当社製HDMIミニケーブルをお使いいただくことをおすすめします。
- ●本機の「HDTV Link」を「ON」に設定している場合は、本機のボタンを使っての操作は制限されます。
- ●接続したテレビ側のHDTV Link（HDMI）が働くように設定しておいてください。（設定方法などはテレビの取扱説明書をお読みください）

準備：「HDTV Link」を「ON」に設定する。（P.47）

1. HDMIミニケーブル（別売）で、本機とHDTV Link（HDMI）に対応したテレビをつなぐ（P.119）
2. 本機の電源を入れる
3. 撮影/再生切換スイッチを ▶（再生）にする
4. テレビの画面表示を参考に、操作する
   - HDTV Linkの操作パネルを参考に操作してください。

■その他の連動操作について
- ●電源OFF
  テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。
- ●自動入力切換
  - HDMIミニケーブルで接続して本機の電源を入れると、テレビの入力切換を自動で本機の画面に切り換えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。（テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合）
  - HDTV Link（HDMI）が正しく働かない場合は、141ページをご確認ください。

3D写真を見る

本機と3D対応テレビを接続して3D記録した写真を再生すると、迫力ある3D写真を楽しむことができます。3D対応のSDカードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した3D写真を再生することもできます。

テレビで見る（つづき）

準備：「3Dテレビ出力」を「3D」に設定する。（P.47）

1 HDMIミニケーブル（別売）で本機と3D対応テレビをつなぎ、再生画面を表示する（P.119）

2 3D記録した写真を表示する

3D写真は、再生時のサムネイル表示に「3D」が表示されます。

■3D記録した写真のみを選んで再生する場合

再生モードの「絞り込み再生」で「3D」を選ぶ（P.106）

■3D記録した写真のみをスライドショーで再生する場合

再生モードの「スライドショー」で「3D」を選ぶ（P.104）

3D撮影写真の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合は、2Dで再生してください。

■3D写真では働かない／使用できない機能

- 再生ズーム※
- 消去※
- 再生メニューの「タイトル入力」「文字焼き込み」「リサイズ（縮小）」「トリミング（切抜き）」

※ 2Dとして表示する場合は使用できます。

●3D写真を本機の液晶モニターで再生した場合、2D（従来の画像）で再生されます。
●3D写真と通常の写真を切り換えて再生すると、数秒間黒画面が表示されます。
●3D写真のサムネイルを選択時、または3D写真再生後のサムネイル表示は、再生開始や表示に数秒間かかります。
●テレビに近づいて3D写真を見ると、目が疲れる場合があります。
●テレビが3D写真表示に切り換わらなかった場合は、テレビ側で必要な準備を行ってください。（詳しくは、テレビの取扱説明書をお読みください）
●3Dの視聴に適さない画像（視差が大きすぎる、など）の場合
- スライドショー再生時：2Dで表示されます。
- 絞り込み再生時：3Dで再生するか確認画面が表示されます。

●3Dに対応していないテレビで3D写真を再生すると、2つの写真が左右に並んで表示される場合があります。

記録した写真や動画を残す

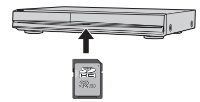
本機で記録した写真や動画は、そのファイル形式（JPEG、MPO、AVCHD、Motion JPEG）によって他の機器への取り込み方法が異なります。お使いの機器により、以下の方法をお選びください。

SDカードをレコーダーに入れてダビングする

取り込み可能なファイル形式：写真 JPEG/ 動画 AVCHD

ブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダーに本機で撮影したSDカードを入れると、ブルーレイディスクやDVDディスク、ハードディスクにダビングすることができます。

- ダビングや再生方法など詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。
- 国や地域によっては、上記の機器がご利用いただけない場合があります。



AVケーブルを使って再生映像をダビングする

取り込み可能なファイル形式：動画 AVCHD、Motion JPEG

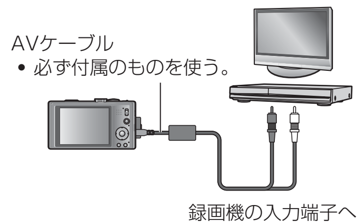
本機で再生した映像をブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダー、ビデオなどを使い、ブルーレイディスクやDVDディスク、ハードディスク、ビデオテープなどにダビングします。ハイビジョン（AVCHD）対応機器以外でも再生できるので、ダビングして配る場合などに便利です。このときの映像は、ハイビジョンではなく標準画質になります。

1 本機と録画機を接続する

2 本機で再生を始める

3 録画機で録画を始める

- 録画（ダビング）を終了するときは、録画機の録画を停止したあと、本機の再生を停止してください。



●横縦比が4:3のテレビでご覧になる場合は、必ず本機の「TV画面タイプ」（P.47）を「4:3」に設定してダビングしてください。「16:9」に設定してダビングした動画を4:3のテレビで見ると、縦長の映像になります。
●ダビングや再生方法など詳しくは、録画機の取扱説明書をお読みください。

記録した写真や動画を残す（つづき）

「Adobe® Premiere® Elements®」を使ってパソコンにコピーする

取り込み可能なファイル形式：写真 JPEG/ 動画 AVCHD、Motion JPEG

DVD-ROM(付属)のソフトウェアを使うと、撮影した写真やAVCHD動画、MOTION JPEG動画をパソコンに取り込んだり、スタンダード画質のDVDビデオを作成できます。また、画像を組み合わせて音楽を加えたスライドショーを作成することができます。
作成した画像は、DVDに保存することができます。

1 お使いのパソコンにソフトウェアをインストールする
- 付属ソフトウェアのインストーラーの指示に従ってください。

2 本機とパソコンを接続する
- 接続方法について→次ページ

●取り込んだAVCHD動画に関するファイルやフォルダーをWindows のエクスプローラーなどで消去、変更、移動をすると再生、編集などができなくなりますので、AVCHD動画は必ず「Adobe® Premiere® Elements®」を使って取り込んでください。

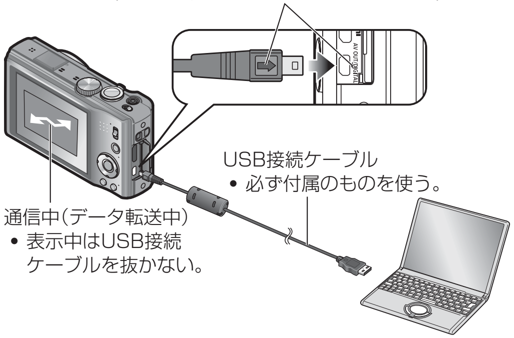
パソコンに接続する

本機とパソコンを接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。
- お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。詳しくはパソコンの説明書をお読みください。
- SDXCメモリーカードにパソコンが対応していない場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。（撮影した画像が消去されますので、フォーマットしないでください）
- Windows 98/98SE 以前またはMac OS 8.x以前のパソコンは、USB接続はできませんが、SDメモリーカードリーダー/ライターが利用できれば取り込めます。
- お使いになるパソコンの環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
- AVCHD動画は必ず「Adobe® Premiere® Elements®」を使って取り込んでください。

パソコンに接続する（つづき）

写真、動画を取り込む

準備：
- バッテリーを十分に充電しておく。
- 内蔵メモリーのとき：カードを抜いておく。



1 本機とパソコンを接続する
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。

2 本機のカーソルボタンで「PC」を選び、［MENU/SET］を押す

「USBモード」（P.46）が「PictBridge(PTP)」に設定されているとメッセージが表示される場合があります。「キャンセル（中止）」を選んで画面を閉じ、「USBモード」を「PC」に設定してください。

3 パソコンを操作する

■接続を解除するとき

➡パソコンでタスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外しまたは取り出し」を実行

■Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Mac OS Xをお使いの場合

「USBモード」（P.46）の設定を「PictBridge(PTP)」にしても、パソコンとPTPモードで接続することもできます。
- 画像の読み出しのみできます。
- カードの中に1000枚以上画像があると、取り込めない場合があります。
- AVCHD動画は、読み出しできません。

取り込みたい画像が入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグ＆ドロップするとパソコンに画像を保存することができます。

■フォルダーの構造と名前

●Windows のとき
「マイコンピュータ」または「コンピュータ」フォルダーにドライブを表示

●Macintosh のとき
「LEICA」
「NO NAME」
「名称未設定」
（デスクトップ上）

- DCIM（写真/動画フォルダー）
  - 100LEICA（1フォルダーに999枚まで）
    - L1000001.JPG
    - ：
    - L1000999.JPG
  - 101LEICA ※
  - ：
  - 999LEICA ※
- MISC（DPOF設定記録、お気に入り管理フォルダー）
- PRIVATE
  - AVCHD（AVCHD動画フォルダー）

.JPG ：写真
.MOV ：動画
.MPO ：3D写真

※フォルダーは次のときに新しく作成されます。
「番号リセット」したとき、フォルダー内のファイル数が999枚を超えたとき、同じフォルダー番号のあるカードを入れたとき（他社のカメラで撮影したものなど）。

- AVCHDフォルダーの中にあるフォルダーやデータをWindows エクスプローラーなどで消去や変更を行わないでください。本機で正しく再生できなくなる場合があります。
  AVCHD動画の編集やデータの管理は、DVD（付属）のソフトウェア「Adobe® Premiere® Elements®」をお使いください。

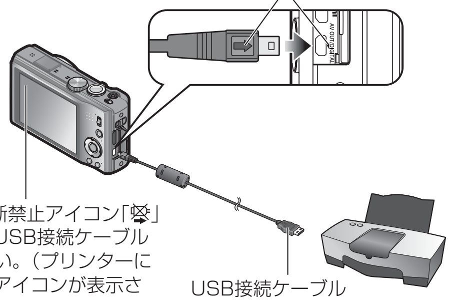
●必ず付属のUSBケーブルをお使いください。
●カードの抜き差しは、本機の電源を切ってから行ってください。
●通信中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。すぐにパソコン側で通信を中止してください。十分に充電されたバッテリーを使用してください。
●「USBモード」を「PC」に設定しておくと、パソコンに接続するたびに設定する必要がありません。
●パソコンの説明書をお読みください。

プリントする

お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。詳しくはプリンターの説明書をお読みください。

PictBridge対応のプリンターに直接接続し、プリントできます。

準備：
- バッテリーを十分に充電しておく。
- 内蔵メモリーのとき：カードを抜く。
- プリンター側で印字品質などを必要に応じて設定しておく。



1 本機とプリンターを接続する
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。

2 本機のカーソルボタンで「PictBridge(PTP)」を選び、[MENU/SET]を押す

3 カーソルボタンでプリントする画像を選び、[MENU/SET]を押す

4 カーソルボタンで「プリント開始」を選び、[MENU/SET]を押す
（プリントの各種設定：P.131）

■途中でプリントを中止するとき ➡ [MENU/SET]を押す

●プリント終了後、USB接続ケーブルを外してください。
●カードの抜き差しは、本機の電源を切ってから行ってください。
●接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。プリントを中止し、USB接続ケーブルを抜いてください。十分に充電されたバッテリーを使用してください。
●動画はプリントできません。

「複数プリント」複数まとめてプリントするとき

1 前ページの手順 3 で▲を押して複数プリントに設定する

2 カーソルボタンで項目を選び、[MENU/SET]を押す
- **複数選択：** ①カーソルボタンで画像を選び、[DISP.]ボタンを押す（解除するとき→再度[DISP.]ボタンを押す）②[MENU/SET]を押す
- **全画像：** すべての画像
- **プリント設定(DPOF)：**「プリント設定」で設定した画像
- **お気に入り：**「お気に入り」で設定した画像（「お気に入り」画像があり、「ON」に設定時のみ表示）

3 カーソルボタンで「プリント開始」を選び、[MENU/SET]を押す
（プリントの各種設定：P.131）

●プリント確認画面が表示された場合は、「はい」を選んでください。
●プリント中にオレンジ色の「●」が画面の左上に表示されたときは、プリンターでエラーが発生しています。
●プリント枚数が多いとき、数回に分けてプリントされることがあります。（残り枚数の表示が設定と異なることがあります）

写真に日付や文字を入れる

■「文字焼き込み」せずに日付などをプリントするとき

●お店プリントの場合：撮影日時のみ印刷できます。お店で、日付プリントを指定してください。
- お店にカードを渡す前に、本機で「プリント設定」をしておくと、カードを渡すだけで、プリント枚数や日付プリントを指定しておくことができます。
- 16:9の写真をプリントする場合は、お店が16:9サイズに対応しているか事前に確認してください。

●プリンターの場合：本機で「プリント設定」をするか、日付プリント対応プリンターをお使いの場合は本機で「日付プリント」（次ページ）を「ON」に設定すると、撮影日時を印刷できます。

本機でプリントの各種設定をする

(「プリント開始」を選ぶ前に設定してください)

1 カーソルボタンで設定項目を選び、[MENU/SET]を押す

設定項目	設定内容
日付プリント	ON(日付プリントする)／OFF
プリント枚数	枚数を設定(最大999枚)
用紙サイズ	[プリンター]を選ぶと、プリンターの設定を優先します。
レイアウト	[プリンター](プリンターの設定を優先)／1面ふちなし 1面ふちあり／[2面](2面)／[4面](4面)

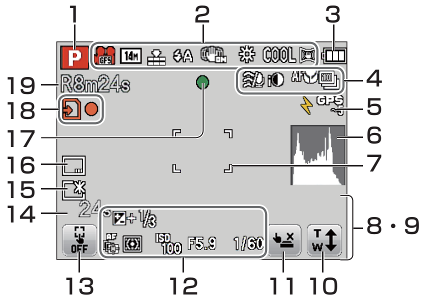
2 カーソルボタンで設定内容を選び、[MENU/SET]を押す

●プリンターが対応していない項目は表示されません。
●「2面」「4面」で同じ写真を並べたいときは、その写真のプリント枚数を2枚/4枚にしてください。
●本機が対応していない用紙サイズやレイアウトでプリントするには[プリンター](プリンター優先)を選び、プリンター側で設定してください。(プリンターの説明書をお読みください)
●「プリント設定」設定時は「日付プリント」と「プリント枚数」の項目は表示されません。
●「プリント設定」をしても、お店やプリンターによって日付プリントされないことがあります。
●「日付プリント」を「ON」にするときは、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。(プリンター側の設定が優先される場合があります)

液晶モニターの表示一覧

[DISP.]ボタンを押すと表示が切り換わります。

■撮影時



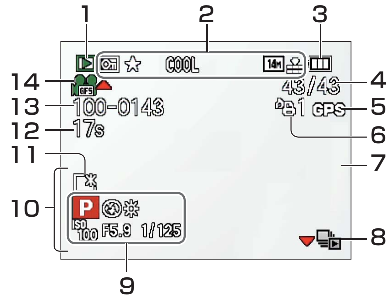
1　撮影モード(P.20)
2　画質設定(P.99)
　記録画素数(P.87)
　クオリティ(P.88)
　フラッシュモード(P.52)
　手ブレ補正(P.96)
　手ブレ警告(P.22)
　ホワイトバランス(P.89)
　カラーモード(P.95)
　アクティブモード(P.100)
3　バッテリー残量(P.15)
4　風音低減(P.100)
　暗部補正(P.93)
　マクロ撮影(P.54)
　連写(P.72)
　オートブラケット(P.58)
5　GPS(P.77)
　測位更新中(P.80)
6　ヒストグラム(P.44)
7　AFエリア(P.23)
8　セルフタイマーモード(P.56)



　フォーカス距離
　ズーム(P.50)

9　現在日時・ワールドタイム(P.85)
　名前・月齢／年齢(P.67、75)
　地名情報(P.79)
　旅行先・トラベル経過日数(P.84)
10　タッチズーム(P.50)
11　タッチシャッター(P.24)
12　露出補正(P.57)
　追尾AF(P.91)
　AF補助光(P.95)
　測光モード(P.93)
　ISO感度(P.88)
　絞り値・シャッタースピード
　(P.22、59、60、61)
13　タッチAF/タッチAE(P.25)
14　撮影経過時間(P.30)
　XXhXXmXXs※
15　液晶モード(P.43)
16　日付焼き込み(P.97)
17　フォーカス(P.23)
18　保存先(P.14)・記録動作
19　記録可能枚数(P.15)
　残り撮影可能時間(P.30)
　残XXhXXmXXs※

■再生時



1　再生モード(P.104)
2　プロテクト(P.116)
　お気に入り(P.114)
　日付／文字焼き込み(P.97、110)
　カラーモード(P.95)
　記録画素数(P.87)
　クオリティ(P.88)
3　バッテリー残量(P.15)
4　画像番号／トータル枚数(P.32)
　再生経過時間(P.33)
　XXhXXmXXs※
5　GPS(P.77)
6　プリント設定(P.115)
7　ヒストグラム(P.44)
8　連写グループ表示(P.103)
9　撮影モード(P.20)
　フラッシュモード(P.52)
　ホワイトバランス(P.89)
　露出補正(P.57)
　ISO感度(P.88)
　絞り値・シャッタースピード
　(P.22、59、60、61)
10　撮影日時・ワールドタイム(P.85)
　名前・月齢／年齢(P.67、75)
　地名情報(P.79)
　旅行先・トラベル経過日数(P.84)
　タイトル(P.108)
11　液晶モード(P.43)
12　動画記録時間(P.33)
　XXhXXmXXs※
13　フォルダー・ファイル番号(P.32、127)
14　画質設定(P.99)
　連写グループ(P.103)
　ケーブル切断禁止(P.128)

• 地名情報、タイトル、旅行先、名前(赤ちゃん/ペット)、名前(個人認証)の優先順位で表示されます。

※hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。

メッセージ表示

液晶モニターに表示される、主なメッセージの意味と対処法です。

■カードについて

メッセージ	ここを確認してください
メモリーカードエラー・ フォーマットしますか？	• 本機では認識できないカードです。 →パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P.48)する。
カードを入れ直してください／別のカードでお試しください	• カードへのアクセスに失敗しました。 →カードを入れ直す。 • miniSDカード、microSDカード、microSDHCカードをアダプターに入れずに本機に入れた。 →必ずアダプターに入れる。 • 別のカードを入れてお試しください。
メモリーカードエラー カードのパラメータが異常です	• カードがSD規格に準拠していません。 • 4 GB以上のメモリーカードは、SDHCメモリーカードおよびSDXCメモリーカードのみ使用できます。
リードエラー/ライトエラー カードを確認してください	• データの読み込みに失敗しました。 →カードが確実に入っているか確認する。(P.12) • データの書き込みに失敗しました。 →電源を切ってからカードを抜き、再び入れてから電源を入れる。 • カードが壊れている可能性があります。 • 別のカードを入れてお試しください。
カードの書込み速度不足のため記録を終了しました	• 推奨のスピードクラスのカード(P.14)を使用しても停止した場合は、データの書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P.48)することをおすすめします。 • カードによっては途中で動画撮影が終了する場合があります。
内蔵メモリー残量が不足しています/ メモリーカード残量が不足しています	• 内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。カードへの一括コピーの場合、カードの空き容量分の画像がコピーされます。
このカードは使用できません	• マルチメディアカードを入れた。 →本機では対応していません。対応するカードをご使用ください。
放送方式(NTSC/PAL)の異なるデータが存在するため、記録できません	• 異なる放送方式のAVCHD形式の動画を他機などで記録したカードには、本機でAVCHD動画を記録できません。 →本機でフォーマットする。データは消去されます。

■バッテリーについて

メッセージ	ここを確認してください
このバッテリーは使えません	• ライカ純正バッテリーをお使いください。 • バッテリーの端子部が汚れているため、認識できません。 →端子部のごみなどを取り除いてください。

■その他

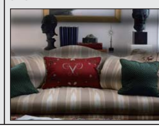
メッセージ	ここを確認してください
この場所ではGPS機能は使用できません	• 中国および中国と隣接する周辺国の国境付近でGPSが働かない場合があります。(2010年12月現在)
消去できない画像があります／この画像は消去できません	• DCF規格(P.32)に準拠していない画像は消去できません。 →パソコンなどに必要なデータを保存してから、本機でフォーマットして消去する。(P.48)
設定枚数をこえました	• 一度に複数消去できる枚数を超えています。 • お気に入り設定が999枚を超えています。 • 一度に「タイトル入力」、「文字焼き込み」「リサイズ(縮小)」(複数設定)できる枚数を超えています。
この画像には設定できません	• DCF規格(P.32)に準拠していない画像は「プリント設定」、「タイトル入力」、「文字焼き込み」できません。
電源を入れ直してください／システムエラー	• レンズが正常に動作しませんでした。 →電源を入れ直す。 (それでも表示されるときは、ライカ代理店またはお近くのライカカスタマーサービスセンターにご相談ください)
コピーできない画像がありました／画像をコピーすることができませんでした	• 次の場合はコピーできません。 →同名の画像がコピー先にある。(カードから内蔵メモリーへコピー時のみ) →DCF規格(P.32)に準拠していないファイル。 →本機以外で撮影・編集された画像。
内蔵メモリーエラー／ フォーマットしますか？	• 内蔵メモリーをパソコンでフォーマットした場合などに表示されます。 →本機でフォーマットし直す。データは消去されます。
フォルダーを作成できません	• フォルダー番号を999まで使っています。 →パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマットする。(P.48)「番号リセット」(P.46)を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。
16:9TV用で出力します／ 4:3TV用で出力します	• 本機にAVケーブル(付属)が接続されました。 →メッセージをすぐに消す場合：[MENU/SET]を押す。 →画面表示の比率を変える場合：「TV画面タイプ」の設定を変える。(P.47) • USB接続ケーブル(付属)が本機のみに接続されました。 →ケーブルのもう一方を機器に接続すると消えます。
撮影できませんでした	• 3D撮影時、撮影場所が暗すぎる／明るすぎる、または濃淡の少ない被写体の場合、撮影できない場合があります。

Q&A 故障かな？と思ったら

まず以下の方法をお試しください。それでも解決できない場合は、セットアップメニューの「設定リセット」を行うと症状が改善する場合があります。
（ただし、設定は「時計設定」など一部を除き、お買い上げ時の状態に戻ります）

	こんなときは…	ここを確認してください
電源、バッテリー	電源を入れても動作しない。	• バッテリーが正しく入っていない。（P.12）または、消耗している。
	電源が入っているのに液晶モニターが消灯する。	• 「スリープモード」が働いている。（P.45） →シャッターボタンを半押しして解除してください。 • バッテリーが消耗している。
	電源を入れてもすぐ切れる。	• バッテリーが消耗している。 • 「スリープモード」が働いている。（P.45） →シャッターボタンを半押しして解除してください。
	電源が勝手に切れる。	• HDTV Link（HDMI）対応のテレビとHDMIミニケーブル（別売）で接続した場合、テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。 →HDTV Link（HDMI）を使用しない場合は、本機の「HDTV Link」を「OFF」に設定してください。（P.47）

	こんなときは…	ここを確認してください
GPS	測位できない	• 「GPS設定」が「OFF」になっている。（P.78） • 屋内やビルの近くなど、撮影する環境によってGPS衛星からの電波を正しく受信できない場合があります。（P.77） →屋外の空のひらけた場所でGPSアンテナを上空に向け、カメラをしばらく静止した状態で使用することをおすすめします。
	電源を切っているときに、GPS動作ランプが点灯する。	• 「GPS設定」が「ON」になっている。 →飛行機の機内や病院などで電源をOFFにするときは、「GPS設定」を「OFF」または にしてください。
	測位に時間がかかる。	• 初めて使う場合やしばらく使わなかった場合は、数分かかる場合があります。 • 通常、2分以内に測位できますが、GPS衛星の位置は変化するため、撮影する場所や環境によっては時間がかかる場合があります。 • GPS衛星からの電波が受信しにくい環境では、測位に時間がかかります。（P.77）
	地名情報と撮影した場所が違う。	• 電源ON直後またはGPSのアイコンが 以外のときは、現在の位置と本機に記憶されている地名情報が大きく異なる場合があります。 • 地名情報に が表示されているときは、撮影前に他の候補地に変更できます。（P.81）
	地名情報が表示されない。	• 付近にランドマークなどが存在しない場合や、本機のデータベースに情報が登録されていない場合、「---」と表示されます。（P.79） →再生時に「GPS地名編集」で地名などを入力できます。（P.109）

	こんなときは…	ここを確認してください
撮影	撮影できない。	• 撮影/再生切換スイッチが （撮影）になっていない。 • 内蔵メモリーやカードの残量がない。 →不要な画像を消去してください。（P.36）
	撮影した画像が白っぽい。	• レンズが汚れている。（指紋などの汚れがついている） →電源を入れてレンズ鏡筒を出し、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。 • つゆつきが起こっている。（P.5）
	撮影した画像が明るすぎる。または暗すぎる。	• 露出を補正してください。（P.57） • 「下限シャッター速度」を「1/250」など速い値に設定している。（P.94）
	シャッターボタンを1回押すと、複数枚撮影される。	• スナップショットモード時、「手持ち夜景」が働いた。（P.27） • 「オートブラケット」、「連写」設定時、またはシーンモードの「手持ち夜景」「フラッシュ連写」にしている。
	ピントが合わない。	• 被写体までの距離に応じたモードになっていない。（撮影モードによって撮影可能範囲が異なります） • 撮影可能範囲から外れている。 • 手ブレや被写体ブレしている。
	撮影した画像がブレる。手ブレ補正が効かない。	• 暗い場所でシャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働いていない。 →脇を締め、本機を両手でしっかり持って撮影してください。 • 「下限シャッター速度」を遅い速度に設定したときは、三脚とセルフタイマー（P.56）をおすすめします。
	オートブラケット撮影ができない。	• 記録可能枚数が2枚以下になっている。
	撮影した画像が粗い。ノイズが出る。	• ISO感度が高い、または、シャッタースピードが遅い。（お買い上げ時はISO感度が「AUTO」のため、屋内などの撮影ではノイズが出ます） →「ISO感度」を低くしてください。（P.88） →「カラーモード」を「ナチュラル」にしてください。（P.95） →明るい場所で撮影してください。 • シーンモードの「高感度」にしている。（高感度処理のため画質が少し粗くなります）
	蛍光灯下でちらつきや横しまが出る。 	• これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。

	こんなときは…	ここを確認してください
撮影（つづき）	撮影した画像の明るさや色合いが実際と違う。	• 蛍光灯下で撮る場合、蛍光灯の特性によってシャッタースピードが速くなると明るさや色合いが多少変化する場合がありますが、異常ではありません。
	撮影時に、液晶モニターに赤っぽい横すじが出る。	• これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。動画撮影では記録されますが、写真には記録されません。 • 太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをおすすめします。
	動画撮影が途中で止まる。	• AVCHD動画を連続して撮影できるのは、「GFS」「FSH」の場合は最大29分までです。 （カメラモデル 18 163 / 18 164の場合） • 動画を連続して撮影できるのは、最大29分までです。 （カメラモデル 18 162の場合） • 画質設定が「GFS」「FSH」の場合､周囲の温度が高かったり､連続で動画撮影を行ったときは、⚠ が表示され、途中で撮影が停止することがあります。 • カードの種類により、記録後しばらくアクセス表示が出たり、途中で動画撮影が終了する場合があります。 • 推奨のスピードクラスのカード（P.14）を使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット（P.48）することをおすすめします。
	AFロックできない。 （動体追尾できない）	• 被写体と背景の色が似ていると、追尾AFが働かないことがあります。被写体の特徴的な色の部分をAFロックしてください。

	こんなときは…	ここを確認してください
液晶モニター	動画撮影中、液晶モニターが暗くなる。	• 長時間動画撮影を続けると、液晶モニターが暗くなることがあります。
	明るさが不安定になる。	• シャッターボタンを半押ししたときに絞り値を設定するためです。（撮影画像に影響はありません） ズーム操作をしたときや、本機を動かしたときに明るさが変化した場合にもこの現象が発生することがありますが、本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
	室内でちらつく。	• 電源周波数が50 Hzの地域では、ちらつく場合があります。（蛍光灯の影響を補正するため）
	明るすぎる、または暗すぎる。	• 「液晶モード」が働いている。（P.43）
	黒、赤、青、緑の点やノイズが現れる。液晶モニターを押さえるとムラが出る。	• 故障ではありません。記録されませんので、安心してお使いください。

	こんなときは…	ここを確認してください
フラッシュ	発光しない。	• （発光禁止）に設定している。（P.52） • 「オートブラケット」、「連写」設定時、シーンモードの「風景」「パノラマアシスト」「夜景」「手持ち夜景」「夕焼け」「星空」「花火」「空撮」「ハイスピード動画」では発光しません。
	複数回発光する。	• 赤目軽減になっている。（P.52） （瞳が赤く写るのをおさえるため2回発光します） • シーンモードの「フラッシュ連写」にしている。

	こんなときは…	ここを確認してください
再生	画像が勝手に回転して小さく表示される。	• 「回転表示」を にしている。
	再生できない。 撮影した画像がない。	• 撮影/再生切換スイッチが ▶（再生）になっていない。 • 内蔵メモリーまたはカードに画像がない。（カードが入っている場合はカードの、入っていない場合は内蔵メモリーの画像を再生します） • パソコンでファイル名を変更した画像ではないですか？その場合、本機で再生することはできません。 • 再生モードが変更されている。 →「通常再生」に設定してください。（P.104）
	フォルダー・ファイル番号が「ー」で表示される。 画像が黒く表示される。	• パソコンで編集、または他機で撮影した。 • 撮影直後にバッテリーを外した。または、残量が少ないバッテリーで撮影した。 →消去するには：本機でフォーマットしてください。（P.48）
	カレンダー再生で、撮影日と違う日付に表示される。	• パソコンで編集、または他機で撮影した。 • 「時計設定」が正しくない。（P.18） （パソコンの時計と異なる場合、一度パソコンにコピーした画像を本機に戻してカレンダー再生すると、撮影日と違う日付で表示されることがあります）
	撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。	• 室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。 
	画面に「サムネイル表示」と表示される。	• 他機で撮影された写真ではないですか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。
	撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。	• デジタル赤目補正（、、）が動作しているとき、肌色に近い色とその内側に赤い模様などがある被写体を撮影した場合、デジタル赤目補正機能の働きにより、その赤い部分が黒く補正される場合があります。 →フラッシュを 、、 または「デジタル赤目補正」を「OFF」にして撮影することをおすすめします。

こんなときは…		ここを確認してください
再生（つづき）	動画に本機の操作音・ズーム音が録音される。	• 動画撮影中に本機が自動でレンズの絞りを調整するため動作音が録音される場合がありますが、異常ではありません。
再生（つづき）	本機で撮影した動画が他機で再生できない。	• 本機で撮影した動画（Motion JPEG）は、他社製デジタルカメラでは再生できない場合があります。 • AVCHD動画※は、AVCHDに対応していない機器では再生できません。AVCHD対応機器でも正しく再生できない場合があります。 ※「GFS」「GS」で撮影した動画は、2010年以前に発売されたAVCHD記録対応のライカ製デジタルカメラでは、再生できません。

こんなときは…		ここを確認してください
テレビ、パソコン、プリンター	テレビに画像が出ない。 画面が流れたり色が付かない。	• 正しく接続していない。（P.118、119） • テレビの入力切換を外部入力にしていない。 • 「ビデオ出力方式」の設定（NTSC/PAL）を確認してください。（P.47）（カメラモデル 18 162の場合）
テレビ、パソコン、プリンター	テレビ画面と液晶モニターの表示が違う。	• テレビの機種によっては、正しい横縦比にならなかったり、端が切れることがあります。
テレビ、パソコン、プリンター	テレビで動画再生できない。	• テレビにカードを入れている。 →AVケーブル（付属）またはHDMIミニケーブル（別売）で接続し、本機で再生してください。（P.118、119）
テレビ、パソコン、プリンター	テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	• 「TV画面タイプ」を確認する。（P.47）
テレビ、パソコン、プリンター	HDTV Link（HDMI）が働かない。	• HDMIミニケーブル（別売）で正しく接続されていますか？（P.119） →HDMIミニケーブル（別売）が奥まで確実に入っていることを確認してください。 • 本機の「HDTV Link」を「ON」に設定していますか？（P.47） →テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。（入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください） →接続した機器側のHDTV Link（HDMI）の設定を確認してください。 →本機の電源を入れ直してください。 →テレビの「HDTV Link制御（HDMI機器制御）」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定してください。（詳しくはテレビの取扱説明書をお読みください）
テレビ、パソコン、プリンター	パソコンに画像を転送できない。	• 正しく接続していない。（P.125） • パソコンが本機を正常に認識しているか確認してください。 • 本機の「USBモード」を「PC」にしてください。（P.46）

こんなときは…		ここを確認してください
テレビ、パソコン、プリンター（つづき）	パソコンにカードが認識されない。（内蔵メモリーになっている）	• USB接続ケーブル（付属）を抜き、カードを入れた状態で再度接続してください。
テレビ、パソコン、プリンター（つづき）	パソコンにカードが認識されない。（SDXCメモリーカードを使用している）	→お使いのパソコンがSDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。 →接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。 →液晶モニターの「通信中」の表示が消えない場合、電源を切ってからUSB接続ケーブルを抜いてください。
テレビ、パソコン、プリンター（つづき）	プリンターに接続してもプリントができない。	• PictBridge対応機を使用していない。 • 本機の「USBモード」を「PictBridge(PTP)」にしてください。（P.46）
テレビ、パソコン、プリンター（つづき）	プリントすると、画像の端が切れる。	• プリンターにトリミングやふちなし印刷機能がある場合、その設定を解除してプリントしてください。（プリンターの説明書をお読みください） • 「画像横縦比」「16:9」で撮影した。 →お店に依頼した場合、16:9のサイズに対応しているか確認してください。

Q&A 故障かな？と思ったら（つづき）

	こんなときは…	ここを確認してください
その他	本機を振ると「カタカタ」と音がする。	• レンズが移動する音で、故障ではありません。
	暗い場所でシャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯する。	• 「AF補助光」を「ON」にしている。(P.95)
	AF補助光が点灯しない。	• 「AF補助光」を「OFF」にしている。
	本機が熱くなる。	• ご使用時、多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。
	レンズ部から「カチッ」と音がする。	• 明るさが変化した場合、レンズ部から音がして、液晶モニターの明るさが変わるときがありますが、これは、絞り値を設定するためです。(撮影に影響はありません)
	時計が合っていない。	• 長期間放置した。 →再度時計を設定する。(P.19) • 時計設定に時間がかかった。(その分時間がずれます)
	ズームの動きが一瞬止まる。	• EX光学ズーム時またはiAズーム時、ズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。
	ズームが最大倍率にならない。	• ズーム倍率が3倍で止まる場合、ズームマクロが設定されています。(P.54)
	ファイル番号が連続して記録されない。	• 新しいフォルダーが作成される場合は、ファイル番号がリセットされます。(P.127)
	ファイル番号がさかのぼって記録される。	• 電源を切らずにバッテリーを抜き差しした。 (フォルダー・ファイル番号を正しく記録できないと、番号がさかのぼって記録される場合があります)

使用上のお願いとお知らせ

お使いのとき

●長時間、連続して使用すると本体が温かくなりますが、異常ではありません。
●磁気や電磁波、電波、高電圧による画像や音声の乱れを防ぐために、テレビ、電子レンジ、ゲーム機、スピーカー、大型モーター、電波塔や高圧線の近くでは使用しない。上記影響で正常に動作しないときは、電源を切ってからバッテリーを抜き、再度取りつける。
●付属のコードやケーブルを使用し、延長して使わない。
●殺虫剤や揮発性のものを本機にかけない。(変質や塗装はがれの原因になります)

お手入れのとき

お手入れの際は、バッテリーを取り出しておき、乾いた柔らかい布でふいてください。
●汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
●ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
●レンズバリア部を触らないでください。

しばらく使わないとき

●電源を切ってからバッテリーとカードは抜いておく。
(特にバッテリーは、過放電により故障の原因になります)
●ゴムやビニール製品に接触させたままにしない。
●押し入れなどでは、乾燥剤(シリカゲル)とともに保管する。また、バッテリーは、涼しく(15 ℃～25 ℃)、湿気の少ない(湿度40 %RH～60 %RH)、温度変化の少ない場所で保管する。
●1年に1回は充電し、いったん使用して、残量がなくなってから再保管する。

使用上のお願いとお知らせ（つづき）

カードやデータについて

●カードやデータの破損を防ぐために
- 高温や直射日光、電磁波、静電気を避ける。
- 折り曲げない、落とさない、強い振動を与えない。
- カード裏の端子部に触れない、汚さない、ぬらさない。

●メモリーカードを廃棄／譲渡するときのお願い
- 本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全に消去されません。
廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

液晶モニターについて

●液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
●寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。

バッテリーの充電について

●バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。また、高温／低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。
●充電中や充電後は、バッテリーが温かくなります。
●充電後でも、長期間放置すると、使わなくてもバッテリーを消耗します。
●クリップなどの金属類をはさみ込まないでください。（火災や感電の原因になります）
●頻繁な継ぎ足し充電はおすすめできません。（充電回数が増えると使用時間が短くなり、バッテリーが膨らむ特性があります）
●バッテリーを分解したり、改造しないでください。
●著しく使用できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
●充電中は：
- チャージャーやバッテリーの端子部の汚れを乾いた布で取る。
- AMラジオからは1 m離す。（ラジオに雑音が入る原因になります）
- チャージャーの内部で音がすることがありますが、異常ではありません。
- 充電が完了したら、チャージャーを電源コンセントから抜きバッテリーを取り出してください。（放置すると、最大0.1 W電力消費）

●落下させてしまった場合など、端子部などが破損したり変形したバッテリーは使わないでください。（故障の原因になります）

レンズについて

●レンズが汚れたら電源を入れ、レンズ鏡筒を出した状態でレンズ鏡筒を指で固定して、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。（レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなるときがあります）
●レンズ部を太陽に向けたまま放置しないでください。
●レンズバリア部を触らないでください。（故障の原因になります。カバンなどから取り出すときにも気をつけてください。）

三脚／一脚を使うとき

●無理な力を加えたり、斜めにねじ止めしないでください。（本体、ねじ穴、定格ラベルの損傷の原因になります）
●三脚が安定していることを確認してください。（三脚の説明書もお読みください）

3Dの視聴について

●光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D撮影画像を視聴しないでください。
- 病状悪化の原因になることがあります。

●3D撮影画像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止してください。
- そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。
- 適度な休憩をとってください。

●3D撮影画像を視聴する場合は、30～60分を目安に適度な休憩をとってください。
- 長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

●近視や遠視の人、左右の視力が異なる人や乱視の人は視力矯正めがねの装着などにより、視力を適切に矯正してください。
3D撮影画像の視聴中に、はっきりと二重に像が見えたら視聴を中止してください。
- 3D撮影画像の見えかたには個人差があります。視力を適切に矯正したうえで3D撮影画像をご覧ください。
- テレビの3D設定や本機の3D出力設定を2Dに切り換えることもできます。

●3D撮影画像を3D対応テレビで見る場合は、画面の有効高さの3倍以上離れて見てください。
- 推奨距離の目安：42型　約1.6 m程度、46型　約1.7 m程度、
50型　約1.9 m程度、54型　約2.0 m程度
- 推奨距離より近い距離でのご使用は、視覚疲労の原因になることがあります。

使用上のお願いとお知らせ（つづき）

個人情報について

赤ちゃんモード／個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

●免責事項
- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
  個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●修理依頼または譲渡／廃棄されるとき
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P.46)
- 内蔵メモリーに画像がある場合は、必要に応じてメモリーカードにコピー(P.117)をし、その後内蔵メモリーをフォーマット(P.48)してください。
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、内蔵メモリーおよび設定は、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により上記の操作が困難な場合はライカ代理店またはお近くのライカカスタマーサービスセンターご相談ください。

メモリーカードを譲渡／廃棄する際は、「●メモリーカードを廃棄／譲渡するときのお願い」をお読みください。(P.144)

重要！本製品に搭載されている地名をご使用になる前に必ずお読みください。

地名データ使用許諾契約書

個人使用限定
本データは、使用許諾を与えられた個人的かつ非商用(非営利)の目的のためにのみ本デジタルカメラとともに使用し、サービスビューロー、タイムシェアリング、又はこれらに類する目的で使用しないことに同意してください。
従って、本データは、後述の制限を守ることを条件とし、個人的使用を目的として、(i) 閲覧及び(ii)保存するために必要に応じてコピーすることができますが、コピーを行う際には、記載されている著作権表示の削除やデータの変更は一切行ってはなりません。
また、本データの再生やコピー、変更、逆コンパイル、分解、リバースエンジニアリングをしないことに同意してください。法律で認められている場合を除き、その形態や目的に関係なく、本データを譲渡や配布することはできません。
マルチディスクの譲渡や売却ができるのは、ライカカメラAGから提供されたままの完全なセットとして譲渡や売却される場合に限られます。セットの一部を譲渡や売却することはできません。

制限事項
ライカカメラAGから具体的に使用許諾を与えられている場合を除き、かつ前記事項を制限することなく、以下を行うことはできません。(a)インストール若しくは接続された、又は車両と通信する製品、システム若しくはアプリケーションで、車両のナビゲーション、測位、配車、リアルタイムの経路誘導、フリート管理若しくはこれらに類する機能があるものと本データを併用すること。 (b) 測位装置、又はモバイルやワイヤレス接続の電子装置やコンピュータ装置と併用すること、若しくはこれらの装置との通信に使用すること。対象装置には携帯電話、パームトップコンピュータ、ハンドヘルドコンピュータ、ポケットベル、携帯情報端末(PDA)が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

警告
時間の経過、状況の変化、使用した情報源、包括的な地理データの収集という性質などは、いずれも不正確な情報の原因になる可能性があるため、本データには不正確若しくは不完全な情報が含まれている可能性があります。

使用上のお願いとお知らせ（つづき）

無保証
本データは「現状のまま」お届けするものであり、その使用は自らの責任において行うことに同意してください。
ライカカメラAGとそのライセンサー(及びその先のライセンサー並びに供給者)は、明示的であるか黙示的であるか、法律に由来するものか否かを問わず、本データの内容、品質、正確性、完全性、有効性、信頼性、特定目的への適合性、有用性、用途、本データから得られるべき結果、本データやサーバに中断やエラーのないことなどに関する保証や表明は一切行いません。

免責条項:
ライカカメラAGとそのライセンサー(その先のライセンサー並びに供給者を含む)は、明示的であるか黙示的であるかを問わず、品質、性能、市販性、特定目的への適合性、権利を侵害していないことなどに関する保証を放棄します。
一部の保証除外が認められていない国や州、地域では、その範囲で上記の免責が適用されない場合があります。

責任の放棄:
ライカカメラAGとそのライセンサー(その先のライセンサー並びに供給者を含む)は、以下についてお客様に対し責任は負わないものとします。その原因の本質如何にかかわらず、直接的であるか間接的であるかを問わず、情報の使用若しくは所有に由来して発生する損失、被害若しくは損害を主張する請求、要求若しくは訴訟、又は本情報の使用若しくは本情報を使用できないこと、誤情報、若しくは本書で定められている条件の違反に由来する利益、売上高、契約若しくは貯蓄の損失、その他直接的、間接的、付随的、結果的に生じる損害若しくは特別損害。その際、それが契約に関する訴訟であるか、不法行為訴訟であるか、保証を根拠とするものであるかを問わず、又、たとえかかる損害が生じる可能性についてライカカメラAG若しくはそのライセンサーが報告を受けていたとしても責任を負わないことに変わりはありません。
一部の免責が認められていない国や州、地域では、その範囲で上記の免責が適用されない場合があります。

輸出規制:
輸出に関する適用法規で義務付けられているすべてのライセンス及び認可を取得、遵守する場合を除き、お届けしたデータ、又はその直接の成果物を一切輸出しないことに同意してください。

完全なる合意:
以上の条件は、本書に記載されている内容に関するライカカメラAG(とそのライセンサー、その先のライセンサー並びに供給者を含む)とお客様との完全なる合意に相当するものであり、書面によるか口頭によるかを問わず、かかる内容に関してこれまで両者間に存在するすべての合意事項に全面的に取って代わるものです。

測地系について
本機で記録される緯度・経度の条件(測地系)は、WGS84です。

著作権について
本機に搭載されている地図データは、個人として使用するほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ナビゲーション機能について
本機はナビゲーション機能を搭載していません。

許諾ソフトウェアの権利者に関する表示

本サービスは株式会社ゼンリンのPOI(位置情報)を使用しています。
"POWERED BY ZENRIN"は株式会社ゼンリンの商標です。

Australia	Copyright. Based on data provided under license from PSMA Australia Limited (www.psma.com.au).
Austria	© Bundesamt für Eich- und Vermessungswesen
Croatia, Cyprus, Estonia, Latvia, Lithuania, Moldova, Poland, Slovenia and/or Ukraine	© EuroGeographics
France	source: Géoroute® IGN France & BD Carto® IGN France
Germany	Die Grundlagendaten wurden mit Genehmigung der zustaendigen Behoerden entnommen.
Great Britain	Based upon Crown Copyright material.
Greece	Copyright Geomatics Ltd.
Hungary	Copyright © 2003; Top-Map Ltd.
Italy	La Banca Dati Italiana è stata prodotta usando quale riferimento anche cartografia numerica ed al tratto prodotta e fornita dalla Regione Toscana.
Norway	Copyright © 2000; Norwegian Mapping Authority
Portugal	Source: IgeoE – Portugal
Spain	Información geográfica propiedad del CNIG
Sweden	Based upon electronic data © National Land Survey Sweden.
Switzerland	Topografische Grundlage: © Bundesamt für Landestopographie.

■ランドマークの種類

以下の観光地や公共施設などが、ランドマークとして表示されます。

• 約100万件(約70,000件が日本国内)のランドマークが登録されていますが、登録されていないランドマークもあります。
（2010年12月現在のものです。更新はされません。）

動物園	植物園	水族館
遊園地(テーマパーク)	ゴルフ場	キャンプ場
スキー場	スケート場	アウトドアレジャー
名所・観光地・景観地	城･城跡	神社
仏閣(寺、観音、不動、薬師)	教会	古墳・碑・塚・史跡・皇室
空港・飛行場	港	フェリーターミナル・渡船乗り場
野球場	陸上競技場	体育館
公園	駅	病院
都道府県庁	市役所・区役所	町村役場
大使館・領事館	美術館	博物館
各種資料館	劇場	映画館・シアター
デパート・百貨店	ショッピングセンター・モール	ホール・会館
文化施設	地ビール・地酒・ワイナリー	峡谷・沢・滝・谷・海岸
リフト・ロープウェイ	タワー	

ライカカスタマーサービス

ライカ・アカデミー

自然観察用具から再生機器まで、高性能な精度の高い製品を提供しているライカは、長年、特別サービスとしてライカ・アカデミーを開催してきました。ライカ・アカデミーは実践に即したセミナーおよび講習会で、初心者はもちろん、上級者の方まで、写真撮影や投影、そして引き伸ばし写真の世界をもっと身近に体験することができます。コースは、ライカのソルムス工場内や近郊にあるグート・アルテンベルク（Gut Altenberg）にある近代設備の整ったセミナー室で行なわれます。

講師陣は、熟練の専門家たち。コースの内容は、写真撮影全般に関する事柄から、興味深い専門分野までさまざまです。多くの実践に役立つヒントや情報、そしてアドバイスをご提供いたします。

詳しい情報および写真撮影ツアーを含む最新のセミナー・プログラムについてのお問い合わせ：

Leica Camera AG
Leica Akademie
Oskar-Barnack-Str. 11
D-35606 Solms
電 話 +49 (0) 6442-208-421
ファックス +49 (0) 6442-208-425
la@leica-camera.com

ライカのホームページ

製品、新製品、イベント、ライカについての最新情報は、次のアドレスのホームページに掲載されています。

http://www.leica-camera.co.jp

ライカインフォメーションサービス

お客様からのライカ製品の使用技術上の質問には、ライカインフォメーションサービスが書面、電話、ファックス、eメールで回答いたします。 次の連絡先にお問い合わせください。

Leica Camera AG
Informations-Service / Software-Support
Postfach 1180
D-35599 Solms
電 話 +49 (0) 6442-208-111 / -108
ファックス +49 (0) 6442-208-490
info@leica-camera.com / software-support@leica-camera.com

ライカカスタマーサービス

お手持ちのライカ製品のメンテナンスが必要な場合もしくは破損した場合、ライカカスタマーサービスまたは各国のライカ代理店の修理サービスが対応いたします（所在地一覧表は保証書をご覧ください）。

Leica Camera AG
Customer Service
Solmser Gewerbepark 8
D-35606 Solms
電 話 +49 (0) 6442-208-189
ファックス +49 (0) 6442-208-339
customer.service@leica-camera.com

- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。

- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。

- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。
  DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。

- LEICA/ライカは、ライカマイクロシステムIR GmbHの登録商標です。

- ELMAR/エルマーは、ライカカメラAGの登録商標です。

- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLC(http://www.mpegla.com/)をご参照ください。

my point of view

Leica Camera AG / Oskar-Barnack-Straße 11 /
D-35606 SOLMS / DEUTSCHLAND
Telefon +49 (0) 6442-208-0 / Telefax +49 (0) 6442-208-333
www.leica-camera.com